

Ⅲ 推進計画

推進計画では、基本構想で掲げるビジョンや政策方針のもと、まちづくりの方向性、重点的に推進するテーマや施策等を示します。

1 まちづくりの方向性

まちづくりの方向性は、基本構想の政策方針に位置付けた「まちづくりの柱」に基づいて10年後に目指すまちの姿を定めています。

2 重点テーマ、重点施策

重点テーマは、本市の現状や課題、市民ニーズ等を総合的に勘案し、緊急かつ重点的に取り組むテーマや課題を設定したものです。

また、重点テーマに基づき推進する施策を重点施策として位置付けています。

3 計画推進に向けた取組方針

今後も厳しい財政状況が継続することが見込まれる中、社会状況の変化に応じて発生する新たな行政課題や、多様化・複雑化する市民ニーズに対応していくことが求められています。限られた資源で最大の効果を生み出すため、選択と集中の考えのもと、行財政改革を進め、効果的・効率的な市政運営に取り組みます。

また、各事業の推進にあたっては、ICTを積極的に活用することにより、市民サービスの提供の迅速化、利便性の向上を図ります。

4 計画期間

推進計画は、社会状況の変化等を考慮して3～4年ごとに見直します。



5 第3期推進計画への見直しにあたって

2025年度から2027年度までの3年間を計画期間とする第3期推進計画の策定にあたっては、2021年度改訂版の策定から社会状況の変化や、これまでの取組や進捗状況を考慮し、まちづくりの方向性や重点テーマ、重点施策の最終的な姿を改めて確認し、バックキャストイングにより重点事業等の見直しを講じています。

今後も、社会状況の変化や市民ニーズを的確に捉え、柔軟に対応していくことで計画の実効性を高め、将来都市像「新しい価値の創造都市・前橋」の実現を目指します。

《見直しイメージ》



◆社会状況の変化への対応

第七次前橋市総合計画の策定から7年が経過しましたが、少子高齢化の進展をはじめ、新型コロナウイルス感染症の影響と回復、気候変動や物価高騰など社会状況は目まぐるしいスピードで変化しています。

そこで、今回の改訂では主に、「未来への投資（こども政策）」、「生産性・効率性の向上」、「共生社会の推進（障害の有無、LGBTQ、外国人等）」、そして、「行財政改革の推進（最適化）」という4つの視点を踏まえて見直しを行いました。

また、昨今の頻発・激甚化する自然災害に対応するため、総合的かつ計画的に強靱な地域づくりを進める「前橋市国土強靱化地域計画」を2020年12月に策定しました。本市では、国土強靱化地域計画を総合計画と並列の計画として位置付け、各個別計画の指針としての役割を相互に補完することとしています。

①未来への投資（こども政策）

日本全体で少子化が進んでおり、前橋市も例外ではありません。少子化は将来的に労働力の減少や経済の停滞、社会保障制度の負担増加を招く懸念があります。そのため、これまでも保育サービスの拡充や教育の質の向上、子育て世代の支援策の強化などの取組を通じて、こども政策を強化してきました。

今後さらにこども政策に注力することは、少子化という社会問題に対応するためだけでなく、前橋市全体の好循環に繋がるものと考えられます。子育て負担を軽減したり、世代間の繋がりを強化したりすることで、地域社会全体の基盤を整え、その結果として前橋市全体としての生活環境の向上や福祉の充実に結びつけていくことが重要です。

②生産性・効率性の向上

アフターコロナや社会経済のデジタル化等により、多様な働き方が進む中でのまちづくりにおいては、生産性・効率性を向上させていく視点が重要です。

リモートワークやフレックスタイム制など、コロナ禍を機に見直された働き方への対応や、地域企業の DX（デジタルトランスフォーメーション）を推進することで、経済活性化と地域全体の競争力向上につながります。限られた資源を最大限有効に活用できるよう、効率性を重視しつつ、住民の生活の質を高めるまちづくりが必要です。

③共生社会の推進

高齢化や国際化が進む中、性別、年齢、障がいの有無、国籍などの違いを越えて、誰もが生きやすい環境を整えることが求められます。

例えば、本市在住の外国人住民は増加傾向にあり、2023年10月現在の市内の外国人労働者は 584 事業所、8,076 人 となっており、2014 年に比べ、事業所数は 約 2.1 倍、外国人労働者数は 約 4.3 倍 となっています。

教育や地域活動を通じて、多様性への理解を深め、社会的な孤立を防ぐ仕組みを整えることが必要です。また、自治体や企業が共生を目指した政策や取り組みを進めることで、すべての人が安心して暮らせる社会を実現できます。

④行財政改革の推進（最適化）

新型コロナウイルス感染症による影響をはじめとした社会状況等の変化に確実に対応しつつ、効率的で効果的な市政運営を実現するためには、持続可能な財政運営を確保することが不可欠です。このため、公共施設の維持管理を含めて、既存事業の必要な見直しを行っていく必要があります。

<見直しの視点と対応する主な取組等>

No.	見直しの視点 (社会状況の変化等)	主な取組	主に関連する まちづくりの方向性
1	<u>未来への投資</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の質の向上 ・子育て施策の強化 	第1章 人をはぐくむまちづくり 第2章 希望をかなえるまちづくり
2	<u>生産性・効率性の向上</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナ ・社会経済のデジタル化 ・多様な働き方の推進 	第4章 活気あふれるまちづくり 第6章 持続可能なまちづくり
3	<u>共生社会の推進</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・認め合い、支え合う社会の推進 ・多文化共生社会の推進 	第1章 人をはぐくむまちづくり 第3章 生涯活躍のまちづくり 第5章 魅力あふれるまちづくり
4	<u>行財政改革の推進(最適化)</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・ファシリティマネジメント^{※1} 	第6章 持続可能なまちづくり

※1 ファシリティマネジメント…土地、建物等について、その供給、品質、財務の最適化を図り、効率的かつ効果的に活用していくための総合的な施設の管理手法

6 推進計画の構成

第1章 人をはぐくむまちづくり（教育・人づくり）

ふるさとを愛し、多様性を尊重する心豊かな人間性を育むとともに、あらゆる世代が共に学び、支え合えるまちを目指します。

重点テーマ 主体性・社会性の育成

重点施策 ①個性を伸ばし、主体性を育む人づくり
②学び合い、高め合う人づくり
③ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり



第2章 希望をかなえるまちづくり（結婚・出産・子育て）

結婚や出産の希望を叶えられ、子育てを楽しむことができるまちを目指します。

重点テーマ 結婚・出産・子育ての希望実現

重点施策 ①結婚や出産に対する支援の充実
②子育て支援の推進
③子育てと仕事の両立支援



第3章 生涯活躍のまちづくり（健康・福祉）

充実した医療福祉環境のもと、生涯を通じた心や体の健康づくりを推進するとともに、誰もが自分らしく生きがいを持ち、共に支え合いながら活躍できるまちを目指します。

重点テーマ 生涯にわたる健康の維持

重点施策 ①**共生社会**の推進
②健康づくりと介護予防の推進



第4章 活気あふれるまちづくり（産業振興）

既にあるしごとの魅力を高めるとともに、新たなしごとを創出し、市民それぞれが個性を活かして活躍できるビジネスチャンスにあふれたまちを目指します。

重点テーマ 地域産業の新たな展開

重点施策
①地域産業の基盤強化・活性化
②働く意欲と機会の創出
③魅力ある農林業への転換



第5章 魅力あふれるまちづくり（シティプロモーション）

地域の魅力を創造・発信し、誰もが訪れ、住み続けたいくなるまちを目指します。

重点テーマ 前橋らしさの創出

重点施策
①地域資源を活かした新たな観光振興
②移住・定住促進
③市民主体の魅力づくりの推進
④魅力的なまちづくりの推進



第6章 持続可能なまちづくり（都市基盤）

人口減少・少子高齢社会に対応した都市基盤の構築を推進し、将来にわたり安全で、安心して暮らせるまちを目指します。

重点テーマ 都市機能の充実と安全・安心の確保

重点施策
①都市機能の集約と拠点性の向上
②交通ネットワークの充実
③環境配慮型社会の形成
④安全・安心なまちづくりの推進



第七次前橋市総合計画「第3期推進計画」の全体像（体系図案） 06/12/17時点

まちづくりの方向性（まちづくりの柱）	重点テーマ	重点施策
<p>第1章 人をはぐくむまちづくり （教育・人づくり）</p> <p>【10年後に目指す姿】 ふるさとを愛し、多様性を尊重する心豊かな人間性を育むとともに、あらゆる世代が共に学び、支え合えるまちを目指します。</p>	<p>主体性・社会性の育成</p>	<p>1 個性を伸ばし、主体性を育む人づくり</p> <p>2 学び合い、高め合う人づくり</p> <p>3 ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり</p>
<p>第2章 希望をかなえるまちづくり （結婚・出産・子育て）</p> <p>【10年後に目指す姿】 結婚や出産の希望を叶えられ、子育てを楽しむことができるまちを目指します。</p>	<p>結婚・出産・子育ての希望実現</p>	<p>1 結婚や出産に対する支援の充実</p> <p>2 子育て支援の推進</p> <p>3 子育てと仕事の両立支援</p>
<p>第3章 生涯活躍のまちづくり （健康・福祉）</p> <p>【10年後に目指す姿】 充実した医療福祉環境のもと、生涯を通じた心や体の健康づくりを推進するとともに、誰もが自分らしく生きがいを持ち、共に支え合いながら活躍できるまちを目指します。</p>	<p>生涯にわたる健康の維持</p>	<p>1 共生社会の推進</p> <p>2 健康づくりと介護予防の推進</p>
<p>第4章 活気あふれるまちづくり （産業振興）</p> <p>【10年後に目指す姿】 既にあるしごとの魅力を高めるとともに、新たなしごとを創出し、市民それぞれが個性を活かして活躍できるビジネスチャンスにあふれたまちを目指します。</p>	<p>地域産業の新たな展開</p>	<p>1 地域産業の基盤強化・活性化</p> <p>2 働く意欲と機会の創出</p> <p>3 魅力ある農林業への転換</p>
<p>第5章 魅力あふれるまちづくり （シティプロモーション）</p> <p>【10年後に目指す姿】 地域の魅力を創造・発信し、誰もが訪れ、住み続けたいまちを目指します。</p>	<p>前橋らしさの創出</p>	<p>1 地域資源を活かした新たな観光振興</p> <p>2 移住・定住促進</p> <p>3 市民主体の魅力づくりの推進</p> <p>4 魅力的なまちづくりの推進</p>
<p>第6章 持続可能なまちづくり （都市基盤）</p> <p>【10年後に目指す姿】 人口減少・少子高齢社会に対応した都市基盤の構築を推進し、将来にわたり安全で、安心して暮らせるまちを目指します。</p>	<p>都市機能の充実と安全・安心の確保</p>	<p>1 都市機能の集約と拠点性の向上</p> <p>2 交通ネットワークの充実</p> <p>3 環境配慮型社会の形成</p> <p>4 安全・安心なまちづくりの推進</p>

施策の方向性（最終成果）	No. 重点事業
(1) <u>こどもたちが学びたいと思え、それに応えられる環境が整っている状態を目指します</u>	1 一人ひとりの学びの推進
(2) <u>こどもたちがお互いの良さや違いを認め合い、自分の良さを発揮している状態を目指します</u>	2 個に応じた教育の推進
(3) <u>図書館が知的活動の場として様々な立場の市民に利用されている状態を目指します</u>	3 図書館の機能充実
(1) <u>こどもたちが、多様な人々と関わり、地域や社会の一員としての自覚を持ち、主体的に学習・活動している状態を目指します</u>	4 人間性を高める学校づくりの推進
(2) <u>様々な世代の住民が交流し、地域と繋がって活き活きしている状態を目指します</u>	5 地域で活躍する人材の育成と社会教育の充実
(1) <u>市民が前橋の自然や文化に愛着をもっている状態を目指します</u>	6 地域の文化や自然を活かした体験活動の推進
(2) <u>市民が文化財に触れ、お薦めの文化財を言える状態を目指します</u>	7 文化財の維持管理・活用促進
(1) <u>結婚に対する不安が解消され、一歩前に踏み出せる状態を目指します</u>	8 結婚の希望が持てる環境づくり
(2) <u>希望する人が安心して妊娠・出産できる状態を目指します</u>	9 妊娠・出産への支援
(1) <u>子育て世代の誰もが悩みや不安を相談でき、安心して子育てできる状態を目指します</u>	10 子育て世代への包括的な支援
(2) <u>地域や社会全体で子育てに対するサポートが行われ、子育てする人の不安感や孤独感が解消されている状態を目指します</u>	11 <u>地域と連携した子育て支援</u>
(1) <u>子育て支援を必要とする人が、誰でも不安なく子どもを預けられ、安心・安定して仕事ができる環境が整っている状態を目指します</u>	12 就学前の子どもの預け先の確保
(2) <u>放課後に子どもが安全に過ごすことができる環境があり、子育てする人がこどもの就学後も安心して子育てと仕事の両立ができる状態を目指します</u>	13 放課後の子どもの居場所づくり
(1) <u>高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる状態を目指します</u>	14 地域包括ケアシステムの推進
(2) <u>国籍や性別、障害の有無などに対する理解が進み、地域の中で支え合いと交流が生まれている状態を目指します</u>	15 <u>多様性社会の推進</u>
(3) <u>障害者が障害の有無によって別け隔てられることなく、安心して地域の中で暮らしている状態を目指します</u>	16 障害者の活躍促進
(1) <u>市民一人ひとりが健康に関心を持ち、その人らしい生活が送れる社会を目指します</u>	17 心身の健康づくり事業の推進
(2) <u>地域の支え合いやつながりの中で、健康に生きがいを持って長生きできる社会（well-being）を目指します</u>	18 介護予防と高齢社会を支える人づくりの推進
(1) <u>社会経済情勢の変化に対応できる事業者が多く存在する状態を目指します</u>	19 <u>事業者の事業継続支援と新市場の開拓</u>
(2) <u>前橋市を立地場所として選択してもらえる状態を目指します</u>	20 企業立地の推進
(1) <u>就業機会に恵まれ、ワークライフバランスが保てている状態を目指します</u>	21 <u>就業機会の充実と多様な働き方の推進</u>
(2) <u>前橋市が起業しようとする人に選ばれる街になった状態を目指します</u>	22 包括的な起業支援
(1) <u>新規就農や定年後の就農を前橋市でと思える状態を目指します</u>	23 地域農業の担い手の確保・育成
(2) <u>収益性の高い農業が展開され、農業収入の増加と安定した営農が継続できる状態を目指します</u>	24 <u>農業基盤の安定支援</u>
(3) <u>前橋産農畜産物の安定した販路が確保され、市内及び市外で消費されている状態を目指します</u>	25 実効性の高い販売戦略の展開
(1) <u>市民も観光客も赤城が好きな状態を目指します</u>	26 <u>赤城山を核とした観光振興</u>
(2) <u>歴史、文化、芸術などの聖地になっている状態を目指します</u>	27 歴史・文化・芸術の活用
(3) <u>スポーツを通じて、訪れる人が増えている状態を目指します</u>	28 <u>スポーツ機会の拡充と環境づくり</u>
(1) <u>前橋市に移住した人や、移住先として検討している人が多い状態を目指します</u>	29 移住・定住の促進
(2) <u>「前橋市で暮らす」という選択肢を持つ若者が増えている状態を目指します</u>	30 若者の定着促進
(3) <u>全ての人が文化や生活習慣の違いを理解し合い、認め合い安心して暮らしている状態を目指します</u>	31 <u>外国人材の定着・共生推進</u>
(1) <u>前橋市の魅力向上に向けて、行政・民間企業が互いの強みを使って行動し、補完し合っている状態を目指します</u>	32 民間との連携推進
(2) <u>市民が前橋に誇りを持ち、自慢・応援したくなる状態を目指します</u>	33 魅力発信の充実・推進
(1) <u>まちなかで色んな体験・経験できる状態を目指します</u>	34 まちなかの魅力向上
(2) <u>まちなかに誰もが快適で豊かな時を過ごせる空間がある状態を目指します</u>	35 <u>まちなか空間の整備・活用</u>
(1) <u>コンパクトな都市形成による効率かつ効果的な都市運営が行われる状態を目指します</u>	36 合理的な土地利用と良好な市街地の形成
(2) <u>多機能化や集約化された公共施設が市内にバランスよく配置されることを目指した検討が行われ、かつ安全に使用できる状態を目指します</u>	37 ファシリティマネジメントの推進
(1) <u>市民が将来にわたりこの場所で暮らしたいと思え、移動に不安を感じないで生活ができる状態を目指します</u>	38 公共交通の維持・充実
(2) <u>公共交通が移動手段の選択肢に入っている状態を目指します</u>	39 <u>公共交通の利用促進</u>
(3) <u>誰もが快適で安全に通行できる状態を目指します</u>	40 安全・安心で円滑な道路環境整備の推進
(1) <u>脱炭素を地域の成長機会として捉え、市民・企業・行政それぞれが主役となって連携しGXの取組が加速している状態を目指します</u>	41 <u>グリーントランスフォーメーション（GX）の推進</u>
(2) <u>ごみ処理施設が持続的に運営でき、ごみの減量化・資源化が更に進んでいる状態を目指します</u>	42 ごみ減量化と安定処理の推進
(1) <u>近隣住民同士が声を掛け合い、安心して、命を守る行動がとれる状態を目指します</u>	43 地域防災力の向上
(2) <u>災害時であっても市民が上下水道を安全安心に使っている状態を目指します</u>	44 災害に強い上下水道システムの構築
(3) <u>消防力が向上し、火災等による被害の軽減と合わせ、救命率が水準となり、市民とともに「安全安心の街」を実現している状態を目指します</u>	45 消防救急体制の充実・強化

7 SDGs の推進～持続可能な社会を目指して～

SDGs（持続可能な開発目標）は、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、“地球上の誰一人として取り残さない”ことを誓っています。

人口減少と少子高齢化社会の進展により、社会全体の活力低下が懸念される中、本市においても、市民に身近な地域行政として、持続可能な地域社会づくりを進めることでSDGsを推進しています。

これは「第七次前橋市総合計画」の策定趣旨に通じるものであることから、総合計画を着実に推進することで、本市におけるSDGs達成に向けた取組を推進させ、SDGsの理念に沿った、経済・社会・環境の3側面における新しい価値の創造を通して17の持続可能な開発目標を実現させていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



(参照) 持続可能な開発のための2030アジェンダ (国際連合広報センター)

【参考】SDGs（持続可能な開発目標）の詳細

目標 1 貧困	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標 2 飢餓	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標 3 保健	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標 4 教育	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
目標 5 ジェンダー	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
目標 6 水・衛生	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
目標 7 エネルギー	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
目標 8 経済成長と雇用	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用を促進する。
目標 9 インフラ、産業化、イノベーション	強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標 10 不平等	各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標 11 持続可能な都市	包摂的で安全かつ強靱で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
目標 12 持続可能な生産と消費	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標 13 気候変動	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標 14 海洋資源	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標 15 陸上資源	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
目標 16 平和	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標 17 実施手段	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

前橋市のSDGsに関する取り組み

1. 前橋市SDGsオリジナルロゴ

前橋市のSDGsへの取り組みのシンボルとして、本市にゆかりのあるバラ、木馬、赤城山をモチーフとしてオリジナルロゴを作成しました。

各所属において計画書や、イベント開催案内のチラシ・リーフレットなど、広く配布を行う冊子、物品等を作成する際に使用しています。



2. 前橋市SDGsパートナー制度

SDGsの理念を踏まえ、地域課題の解決や、誰一人取り残さない持続可能なまちづくりに共に取り組む団体等を募集し、前橋市におけるSDGsの推進を図ることを目的としています。

2025年3月末時点での登録数は181企業・団体であり、パートナーを対象とした活動を以下の通り実施しています。

●前橋市SDGsデイズ

SDGsを身近に感じてもらうために、前橋市SDGsデイズを開催し、市民に向けてSDGsの普及啓発と前橋市パートナー企業によるSDGsの取り組みを周知するため開催しています。

●異業種交流会

前橋市SDGsパートナーがワークショップを通してSDGsの理解度を深めると同時に、パートナー企業・団体同士の交流を図ることを目的に開催しています。

●協働アクション

2023年度は「道路・公園・河川等の美化（清掃）活動」「ごみや食品ロスの削減」のいずれかまたは両方を実施できるパートナーを募り、協働アクション期間を設定し、実施しました。

2024年度は前橋まつり会場の清掃活動に参加できるパートナーを募り、ごみ拾いを実施しました。

●公園美化プロジェクト

担い手不足や高齢化などにより、会の運営が難しくなっている公園愛護会の活動をサポートするために、SDGsパートナーと地域が手を組み、一緒に公園美化活動に取り組むことで、地域の負担軽減、企業の社会貢献などに繋がっています。

第七次前橋市総合計画・第3期推進計画とSDGsの主な関連表

重点テーマに基づき推進する施策			SDGsの17のゴール				
			1	2	3	4	5
			貧困	飢餓	保健	教育	ジェンダー
章	No.	重点施策					
1章	1	個性を伸ばし、主体性を育む人づくり				●	
	2	学び合い、高め合う人づくり				●	
	3	ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり				●	
2章	1	結婚や出産に対する支援の充実			●		●
	2	子育て支援の推進			●	●	●
	3	子育てと仕事の両立支援			●	●	●
3章	1	共生社会の推進			●	●	●
	2	健康づくりと介護予防の推進			●	●	●
4章	1	地域経済の基盤強化・活性化	●				
	2	働く意欲と機会の創出	●			●	●
	3	魅力ある農林業への転換	●	●		●	
5章	1	地域資源を活かした新たな観光振興			●	●	
	2	移住・定住促進				●	
	3	市民主体の魅力づくりの推進					
	4	魅力的なまちづくりの推進			●		
6章	1	都市機能の集約と拠点性の向上			●		
	2	交通ネットワークの充実			●		
	3	環境配慮型社会の形成					
	4	安全・安心なまちづくりの推進			●		

※重点施策とSDGsの17のゴールの関連については、169のターゲットを参考にし、

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
水・衛生	エネルギー	経済成長と雇用	インフラ、産業化、イノベーション	不平等	持続可能な都市	持続可能な生産と消費	気候変動	海洋資源	陸上資源	平和	実施手段
 6 安全な水とトイレを世界中に	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	 8 働きがいも経済成長も	 9 産業と技術革新の基盤をつくろう	 10 人や国の不平等をなくそう	 11 住み続けられるまちづくりを	 12 つくる責任 つかう責任	 13 気候変動に具体的な対策を	 14 海の豊かさを守ろう	 15 陸の豊かさも守ろう	 16 平和と公正をすべての人に	 17 パートナーシップで目標を達成しよう
				●	●						
				●	●						
				●	●				●		
				●	●					●	
					●						
		●		●	●					●	
				●	●						
		●	●	●	●		●				
		●	●	●	●						
		●	●	●		●			●		
		●			●	●			●		
		●	●	●	●						
		●	●	●	●					●	
		●			●	●					●
		●	●	●	●	●					●
	●		●		●		●				
●			●		●		●				

ターゲットと関係する主な取組を掲げています。

① 上段：左からまちづくりの方向性→まちづくりの柱→重点テーマの順に記載しています
下段：重点施策名を記載しています

② 推進計画最終年度までに目指す施策全体の目標です

③ 重点施策と関連性の高いSDGsのゴールを掲載しています

④ 現状を踏まえて取り組むべき課題を記載しています

⑤、⑥ 【地域経営】重点施策推進にあたり、市民、企業団体に期待する役割を記載しています

⑦ 重点施策の現状を表すデータや直近の市民アンケート結果を記載しています

⑧ 重点事業番号と重点事業名称を記載しています

⑨ 重点事業の成果の達成度を測る指標です

現状値については、指標を確認できる直近の年度を記載しています

市民の幸福度・満足度の視点を取り入れるため、ウェルビーイング指標を補足指標として設定します
※該当する指標にはアイコンを表示

⑩ 重点事業を構成する内容（行政活動から施策の方向性）をロジックモデルによって可視化しています
左から
【個別事業名称】 → 【直接成果】 → 【中間成果】 → 【最終成果】
目標達成に向けた具体的な行政活動・事業 → 行政活動により目指す成果 → 活動の完了後、一定の期間後に期待される変化 → 最終的（2027年度）に実現を目指す状態

① 【人をはぐくむまちづくり（教育・人づくり）】主体性・社会性の育成
1 個性を伸ばし、主体性を育む人づくり

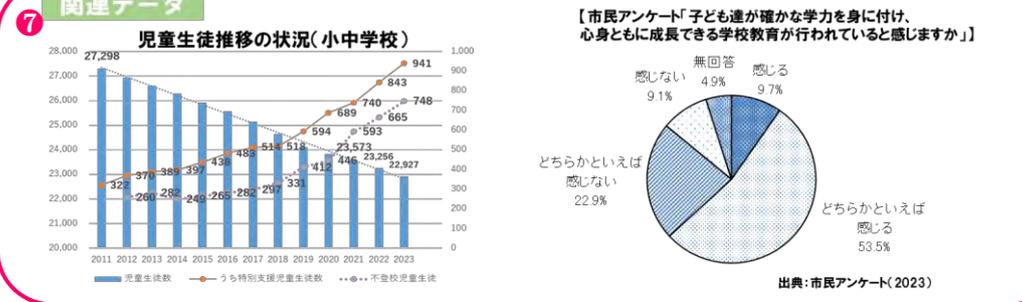
② **目標** 一人ひとりの個性や感性を伸ばし、主体性を育みます



④ **現状と課題** 環境の多様な変化に柔軟に対応するための主体的に学ぶ力を身に付けた、次世代を担う人材育成が求められています

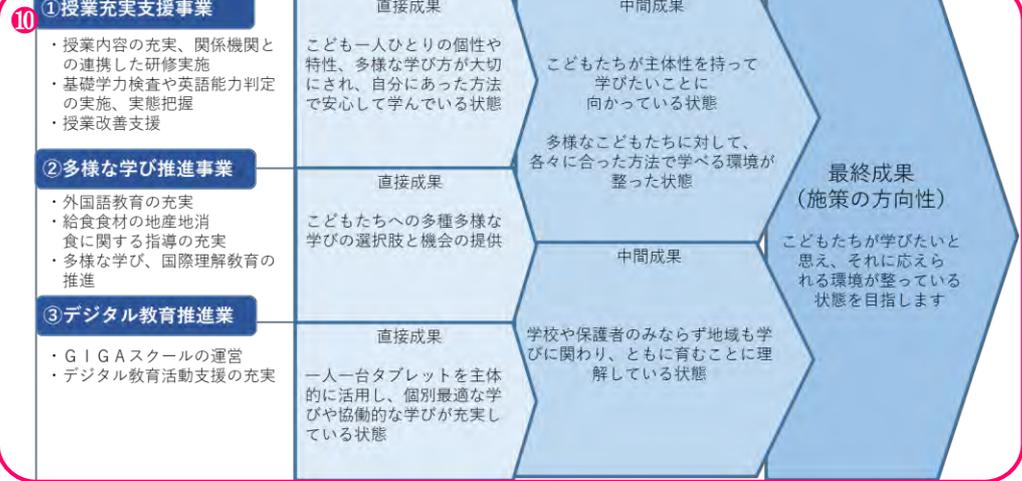
⑤ **市民に期待する役割**
・学校公開日等への積極的な参加
・教育ICTへの理解
・特別支援教育への理解
・図書館における読書活動への参加

⑥ **企業・団体に期待する役割**
・キャリア教育への協力
・外国人児童生徒への理解
・読書活動充実のための人材提供



⑧ **(1) 一人ひとりの学びの推進**

⑨ 成果指標	学校評価アンケートで「学習のめあてをもち、進んで取り組み、考えを伝え合いながら、学びを深めることができているか」という質問に「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合	実績（2017） 79%	現状（2023） 82.2%	目標（2027） 85%
	学校評価アンケートで「学びの質を高めるICT活用の推進」について、「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合	実績（2017） —%	現状（2023） 83.4%	目標（2027） 87%



【全体の構成】

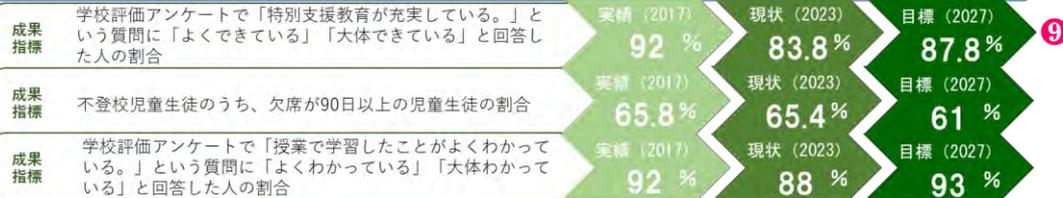
※体系図に記載されている施策単位で掲載しています（全19施策）

※右ページは8から10を重点事業ごとに掲載

※各重点施策は2～3の重点事業によって構成されています

(2) 個に応じた教育の推進

8



① 特別支援教育推進事業

- ・特別支援教育巡回相談の実施
- ・特別支援学級介助員・学習サポーター等の支援スタッフの配置

直接成果

子どもが困ったときに相談でき必要なときに支援を受けられる状態

中間成果

子どもが自分と友達の違いを知っている状態

10

② 青少年支援事業

- ・青少年の相談対応や支援実施
- ・教育支援教室の運営
- ・スクールアシスタント等の支援スタッフの配置

直接成果

子どもの個性や特性、家庭環境を理解している大人が近くにいる状態

中間成果

子どもたちが安心して自己表現できる状態

最終成果
(施策の方向性)

子どもたちがお互いの良さや違いを認め合い、自分の良さを発揮している状態を目指します

③ 外国人児童生徒支援事業

- ・巡回型日本語指導員を配置
- ・保護者支援員（通訳・翻訳）
- ・日本語スタートアッププログラム等の実施

直接成果

安心して友達と一緒に過ごせる環境が整っている状態

中間成果

子どもに居場所（学校・園・その他）がある状態

(3) 図書館の機能充実

8



① 図書館のあり方検討事業

- ・新本館整備方針、分館を含めた本館の在り方検討
- ・子ども図書館や県立図書館との役割分担等

直接成果

図書館運営の充実が期待できる施策が増える状態

中間成果

図書館が市民にとって身近に（物理的に、気持的に）ある状態

10

② 読書活動推進事業

- ・図書館本館、子ども図書館、分館資料の一括管理や貸出
- ・企画展や講座等の自主事業開催
- ・読み聞かせ活動の実施

直接成果

本に興味を持つ子どもが増えている状態
市民が本と出会うきっかけが提供できている状態

中間成果

読書習慣が身につく人が増えている状態

最終成果
(施策の方向性)

図書館が知的活動の場として様々な立場の市民に利用されている状態を目指します

③ 図書館ICT活用事業

- ・電子図書館事業の実施
- ・セルフ貸出機の啓発等ICTの有効活用

直接成果

ICTの機器やサービスが活用されている状態

中間成果

図書館の利便性が向上したと感ずる人が増えている状態

10 (再掲)

重点事業を構成する内容（行政活動から施策の方向性）をロジックモデルによって可視化しています

左から



第1章

人をはぐくむまちづくり (教育・人づくり)

10年後に
目指す姿

ふるさとを愛し、
多様性を尊重する心豊かな人間性を育むとともに、
あらゆる世代が共に学び、
支え合えるまちを目指します。

重点テーマ

主体性・社会性の育成

重点施策

- 1 個性を伸ばし、主体性を育む人づくり
- 2 学び合い、高め合う人づくり
- 3 ふるさとを愛し、未来へ繋げる人づくり

1 個性を伸ばし、主体性を育む人づくり



目標

一人ひとりの個性や感性を伸ばし、主体性を育みます

現状と課題

環境の多様な変化に柔軟に対応するための主体的に学ぶ力を身に付けた、次世代を担う人材育成が求められています

市民に期待する役割

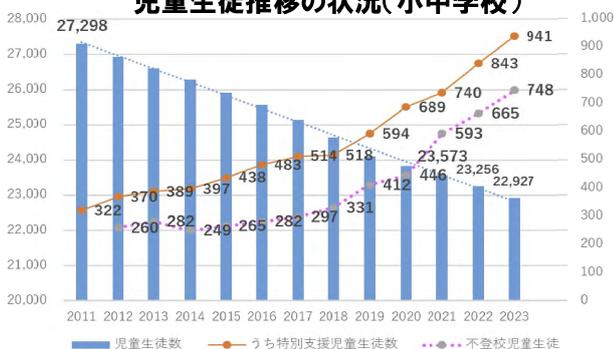
- ・ 学校公開日等への積極的な参加
- ・ 教育ICTへの理解
- ・ 特別支援教育及び外国人児童生徒への理解
- ・ 図書館における読書活動への参加

企業・団体に期待する役割

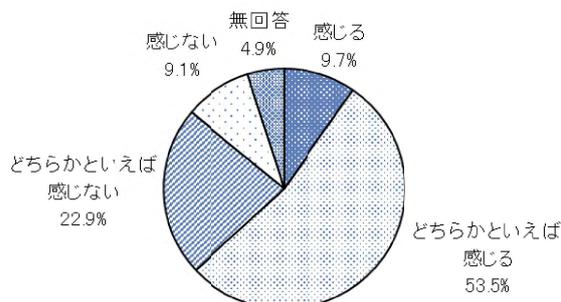
- ・ キャリア教育への協力
- ・ 特別支援教育及び外国人児童生徒への理解
- ・ 読書活動充実のための人材提供

関連データ

児童生徒推移の状況（小中学校）



【市民アンケート「子ども達が確かな学力を身に付け、心身ともに成長できる学校教育が行われていると感じますか」】



出典：2023年度市民アンケート

(1) 一人ひとりの学びの推進

成果指標

学校評価アンケートで「学習のめあてをもち、進んで取り組み、考えを伝え合いながら、学びを深めることができますか」という質問に「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合

実績（2017）

79%

現状（2023）

82.2%

目標（2027）

85%

成果指標

学校評価アンケートで「学びの質を高めるICT活用の推進」について、「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合

実績（2017）

—%

現状（2023）

83.4%

目標（2027）

87%

①授業充実支援事業

- ・ 授業内容の充実、関係機関との連携した研修実施
- ・ 基礎学力検査や英語能力判定の実施、実態把握
- ・ 授業改善支援

直接成果

こども一人ひとりの個性や特性、多様な学び方が大切にされ、自分にあった方法で安心して学んでいる状態

中間成果

こどもたちが主体性を持って学びたいことに向かっている状態

②多様な学び推進事業

- ・ 外国語教育の充実
- ・ 給食食材の地産地消食に関する指導の充実
- ・ 多様な学び、国際理解教育の推進

直接成果

こどもたちへの多様な学びの選択肢と機会の提供

中間成果

多様なこどもたちに対して、各々に合った方法で学べる環境が整った状態

③デジタル教育推進業

- ・ GIGAスクールの運営
- ・ デジタル教育活動支援の充実

直接成果

一人一台タブレットを主体的に活用し、個別最適な学びや協働的な学びが充実している状態

中間成果

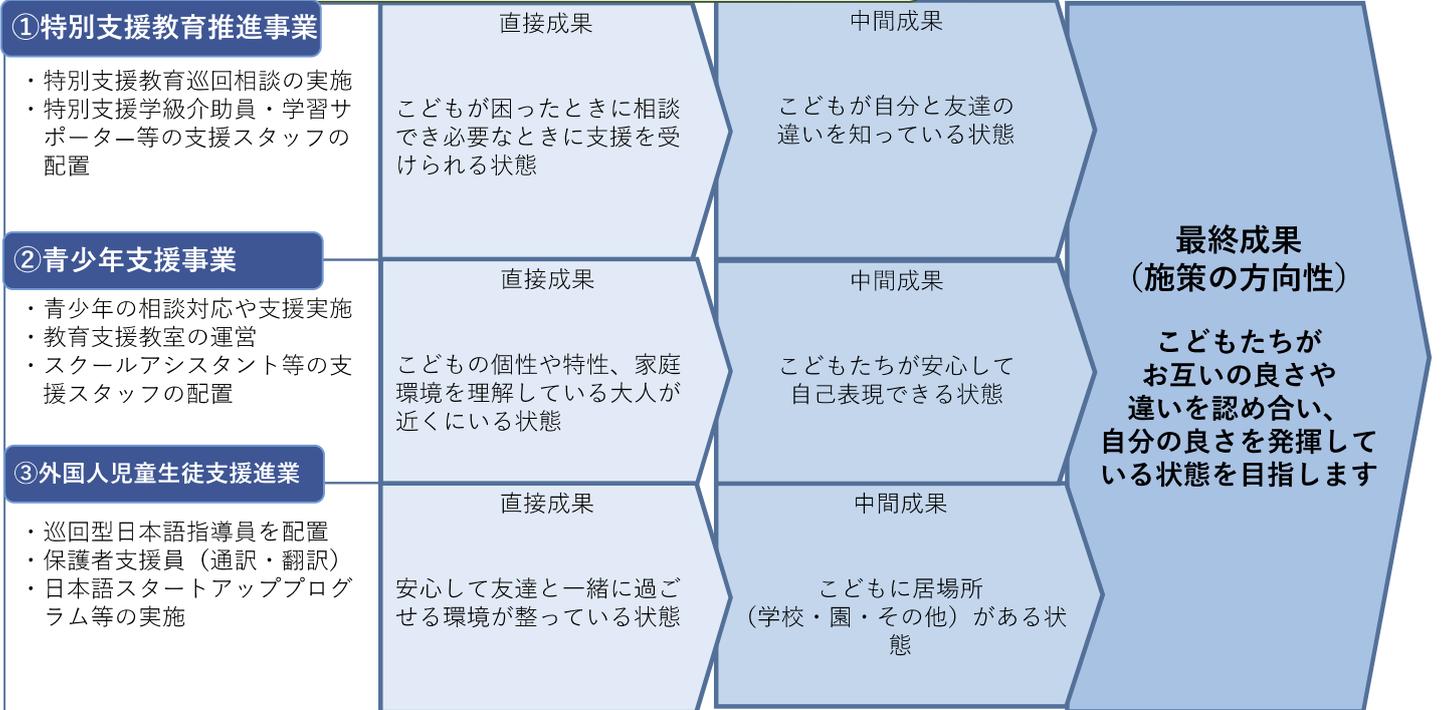
学校や保護者のみならず地域も学びに関わり、ともに育むことに理解している状態

最終成果（施策の方向性）

こどもたちが学びたいと思え、それに応えられる環境が整っている状態を目指します

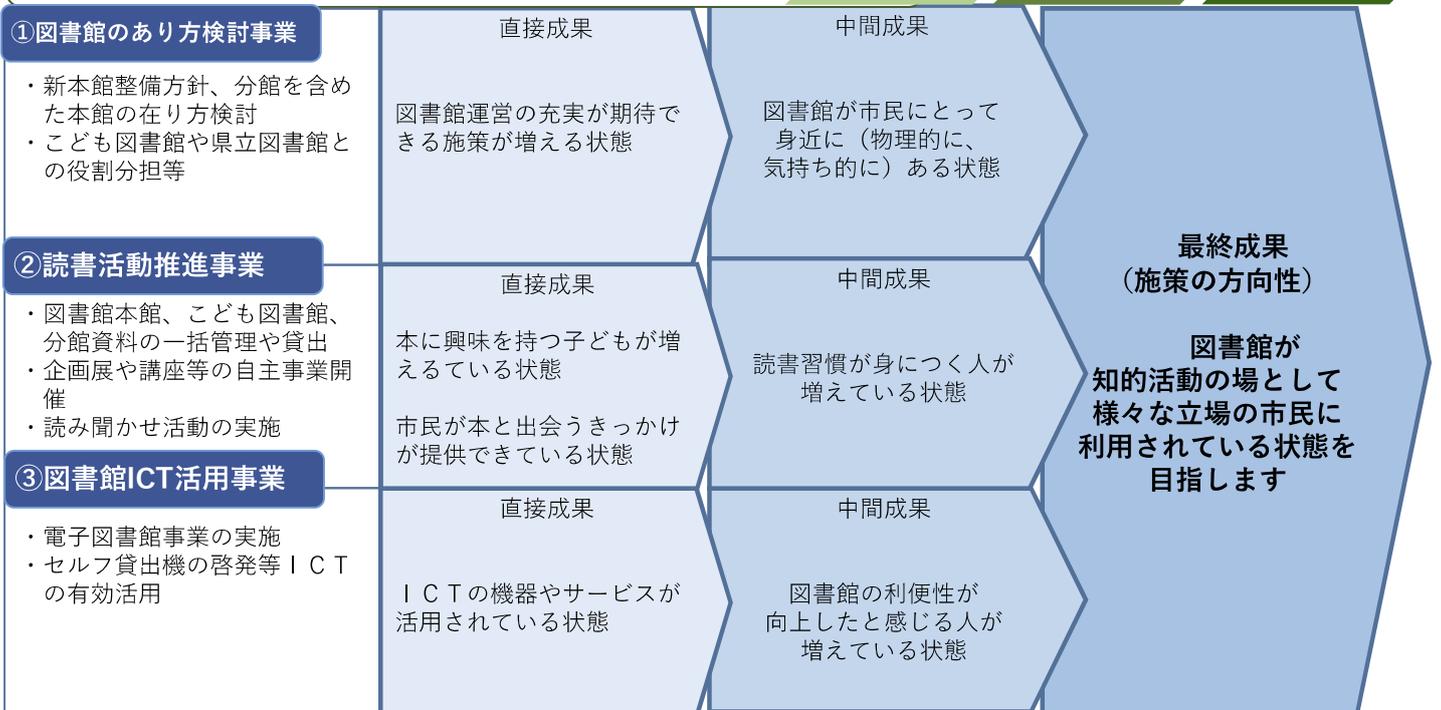
(2) 個に応じた教育の推進

成果指標	学校評価アンケートで「特別支援教育が充実している。」という質問に「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合	実績(2017) 92%	現状(2023) 83.8%	目標(2027) 87.8%
成果指標	不登校児童生徒のうち、欠席が90日以上の子どもの割合	実績(2017) 65.8%	現状(2023) 65.4%	目標(2027) 61%
成果指標	学校評価アンケートで「授業で学習したことがよくわかっている。」という質問に「よくわかっている」「大体わかっている」と回答した人の割合	実績(2017) 92%	現状(2023) 88%	目標(2027) 93%



(3) 図書館の機能充実

成果指標	図書館本館・前橋こども図書館の来館者数(年間)	実績(2017) —人	現状(2023) 192,171人	目標(2027) 192,800人
成果指標	図書館の主催事業の参加人数(年間)	実績(2017) 10,627人	現状(2023) 9,732人	目標(2027) 10,200人
成果指標	資料貸出冊数・点数(年間) ※電子書籍含む	実績(2017) 2,116,205冊	現状(2023) 1,784,435冊	目標(2027) 1,852,200冊



2 学び合い、高め合う人づくり



目標

多様な集団の中で社会性や、認め合い支え合う心を育み、地域と協働してよりよい社会を創造する力を育みます

現状と課題

家庭、地域、学校の連携による様々な地域活動の中で、こどもたちの居場所づくりや人間関係の形成が求められています

市民に期待する役割

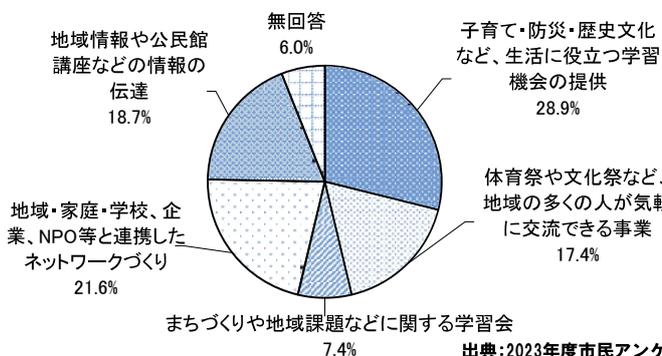
- ・ 地域活動への参加・協力
- ・ 地域と家庭、学校との連携強化
- ・ 学びの地域還元

企業・団体に期待する役割

- ・ 社会的なスキルやコミュニケーション能力を育むための体験活動への協力
- ・ こどもたちが主体となる行事・活動の創出
- ・ 社会教育活動のための場や機会の提供

関連データ

【市民アンケート「公民館やコミュニティセンターに期待する取組はどれですか」】



【公民館及びコミュニティセンター利用件数・利用者数】



(4)人間性を高める学校づくりの推進

成果指標

学校評価アンケートで「充実指針を生かした学校課題の解決に向けた取組」という質問に「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合

実績 (2017)

92 %

現状 (2023)

93.4 %

目標 (2027)

95 %

成果指標

学校評価アンケートで「あなたは進んで地域の行事などに参加し、地域のために活動したり、地域の人と交流したりしていますか。」という質問に「よくできている」「大体できている」と回答した人の割合

実績 (2017)

— %

現状 (2023)

65.1 %

目標 (2027)

70 %

①教職員多忙化解消事業

- ・ 前橋校務補助員や小学校教科指導講師等の教員を支援、補助できるスタッフ配置
- ・ 校務支援システム

直接成果

教職員が本来の業務に専念できる時間が十分に確保されている状態

中間成果

教職員がやりがいを持ち、こどもたちと向き合える時間を確保できる状態

②部活動地域移行推進事業

- ・ 部活動地域移行に向けた体制整備
- ・ 地域と連携した部活動推進

直接成果

こどもたちが多様な人と関わりながら学習・活動する機会がある状態

中間成果

こどもたちが地域の方々との関わりの中で、自らの学びや、自分のよさを自覚できる状態

③地域と連携した教育推進業

- ・ 学校運営協議会制度の推進（コミュニティ・スクール）
- ・ 学校と地域が連携協働
- ・ 地域人材を活用した授業実施
- ・ 中学生職場体験事業実施

直接成果

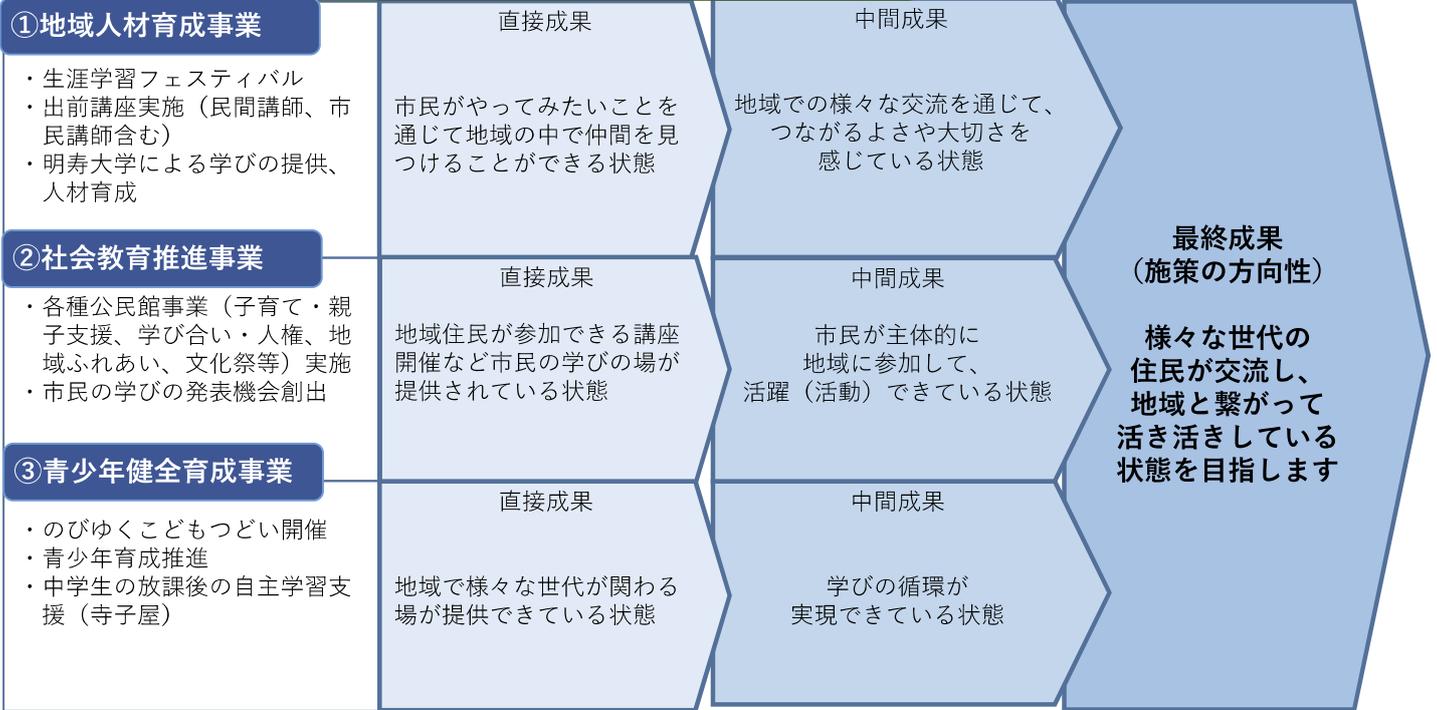
学校教育の様々な場面（授業や課外活動）で地域人材を活用できる状態

最終成果 (施策の方向性)

こどもたちが、多様な人々と関わり、地域や社会の一員としての自覚を持ち、主体的に学習・活動している状態を目指します

(5) 地域で活躍する人材の育成と社会教育の推進

成果指標	地域の青少年健全育成団体が関わった行事の参加者数（年間）	実績（2017） 40,921 人	現状（2023） 24,806 人	目標（2027） 48,000 人
成果指標	民間講師の講座開催件数（年間）	実績（2017） 96 件	現状（2023） 150 件	目標（2027） 170 件
成果指標	公民館・コミュニティセンターの講座学習参加者数（年間）	実績（2017） 36,736 人	現状（2023） 58,354 人	目標（2027） 60,000 人



3 ふるさを愛し、未来へ繋げる人づくり

目標

前橋の自然や文化への理解を深め、愛情や誇りを育むとともに、前橋の歴史・文化を次世代に継承します



現状と課題

地域の文化財を積極的に活用し、郷土への関心や親しみを高めるとともに、ふるさとの豊かな自然に触れる機会の充実が求められています

市民に期待する役割

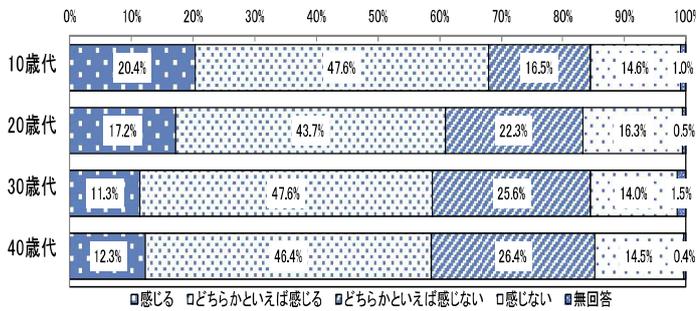
- ・ 講座やイベントへの参加
- ・ 魅力ある地域資源の発掘、発信
- ・ 郷土への誇りや愛着を持つ
- ・ 歴史・文化財の継承

企業・団体に期待する役割

- ・ こどもたちを対象としたイベント企画
- ・ 異業種間の連携
- ・ 地域振興、文化財施設への貢献活動
- ・ 地域の伝統行事、祭りへの協力支援

関連データ

【市民アンケート「あなたは前橋の自然・歴史文化・食・風土などに誇りを感じますか」】

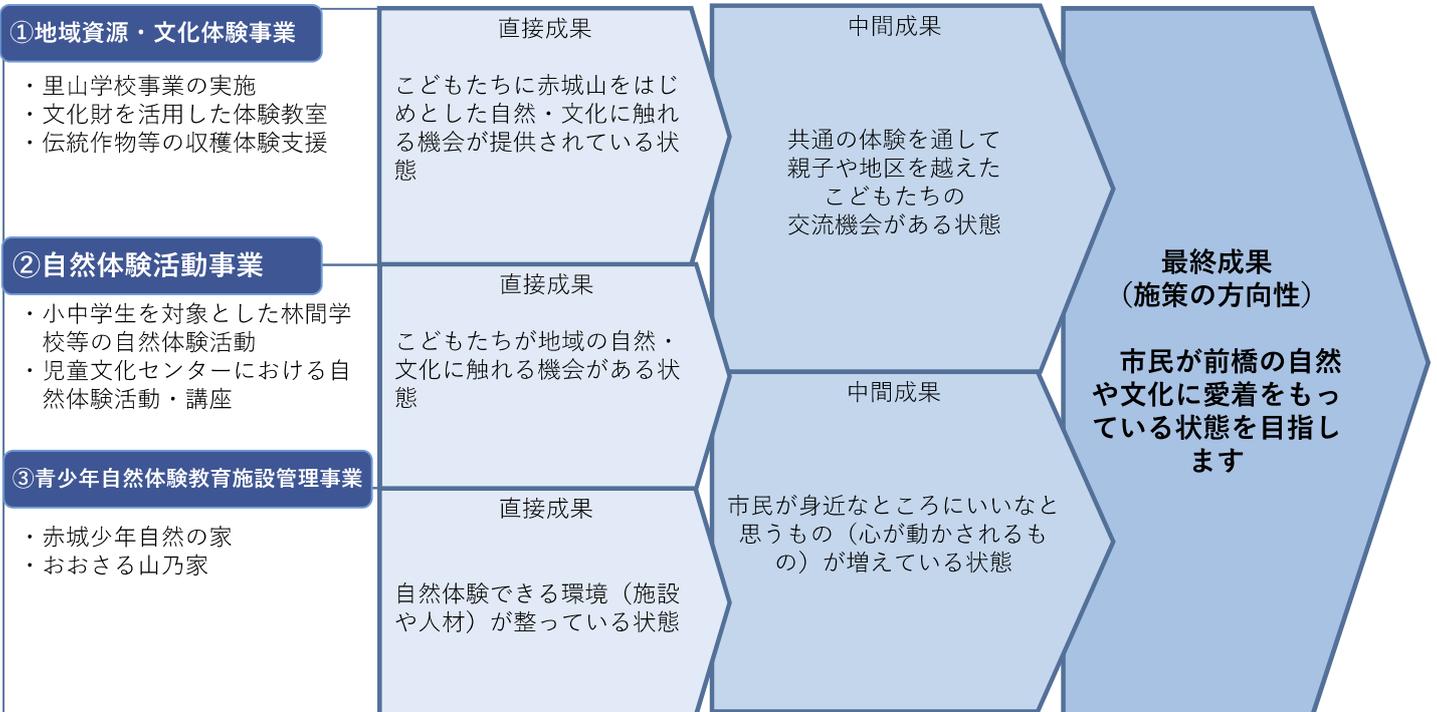
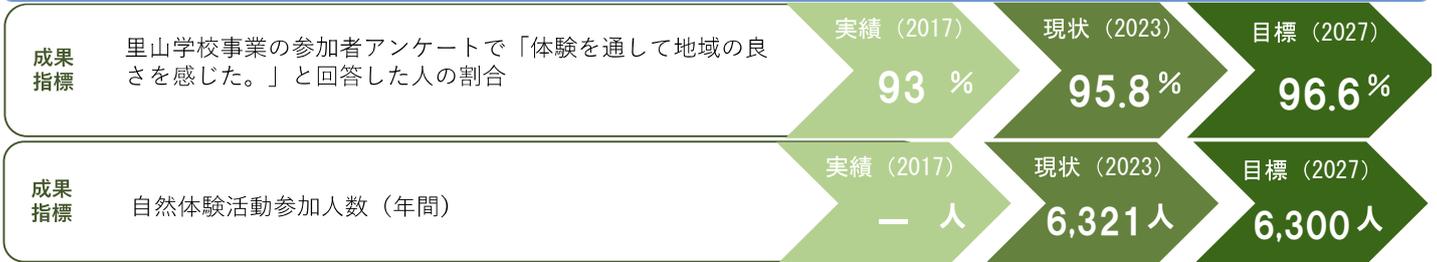


出典：2023年度市民アンケート

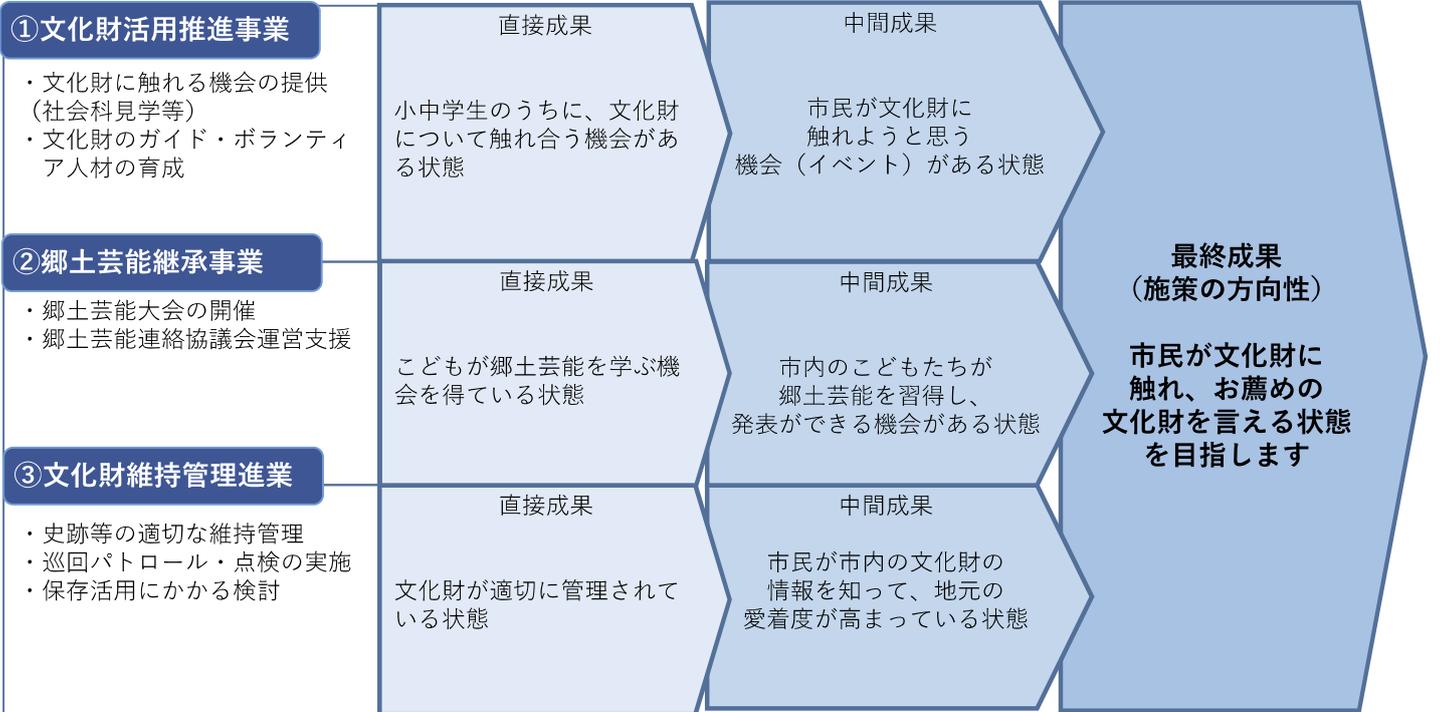
文化財施設の来館者数



(6)地域の文化や自然を活かした体験活動の推進



(7)文化財の維持管理・活用促進



第2章

希望をかなえるまちづくり (結婚・出産・子育て)

10年後に
目指す姿

結婚や出産の希望を叶えられ、
子育てを楽しむことができる
まちを目指します。

重点テーマ

結婚・出産・子育ての希望実現

重点施策

- 1 結婚や出産に対する支援の充実
- 2 子育て支援の推進
- 3 子育てと仕事の両立支援

1 結婚や出産に対する支援の充実

目標

結婚や出産を希望する市民一人ひとりが諦めることなく取り組める環境をつくることにより、まちに家庭を築くことの幸せをもたらします



現状と課題

結婚や出産についての選択肢が多様になっている中で、市民一人ひとりが希望を叶えられる社会の実現が求められています

市民に期待する役割

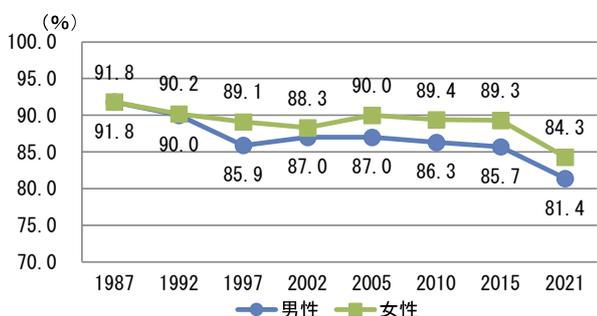
- ・結婚希望者による積極的な情報収集
- ・妊娠・出産の正しい知識の習得
- ・将来のライフプランの検討
- ・妊娠・出産への前向きな理解

企業・団体に期待する役割

- ・結婚希望者を後押しする風土づくり
- ・妊娠・出産に対する前向きな理解
- ・ライフイベントを考慮した働きやすい環境づくり

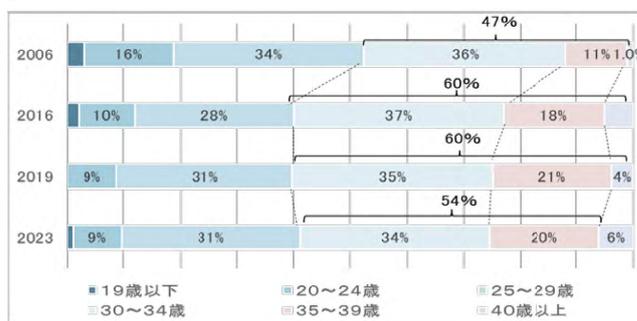
関連データ

【男女別結婚意思(未婚男女のうち「いずれ結婚するつもり」という回答の推移)】



出典: 出生動向基本調査

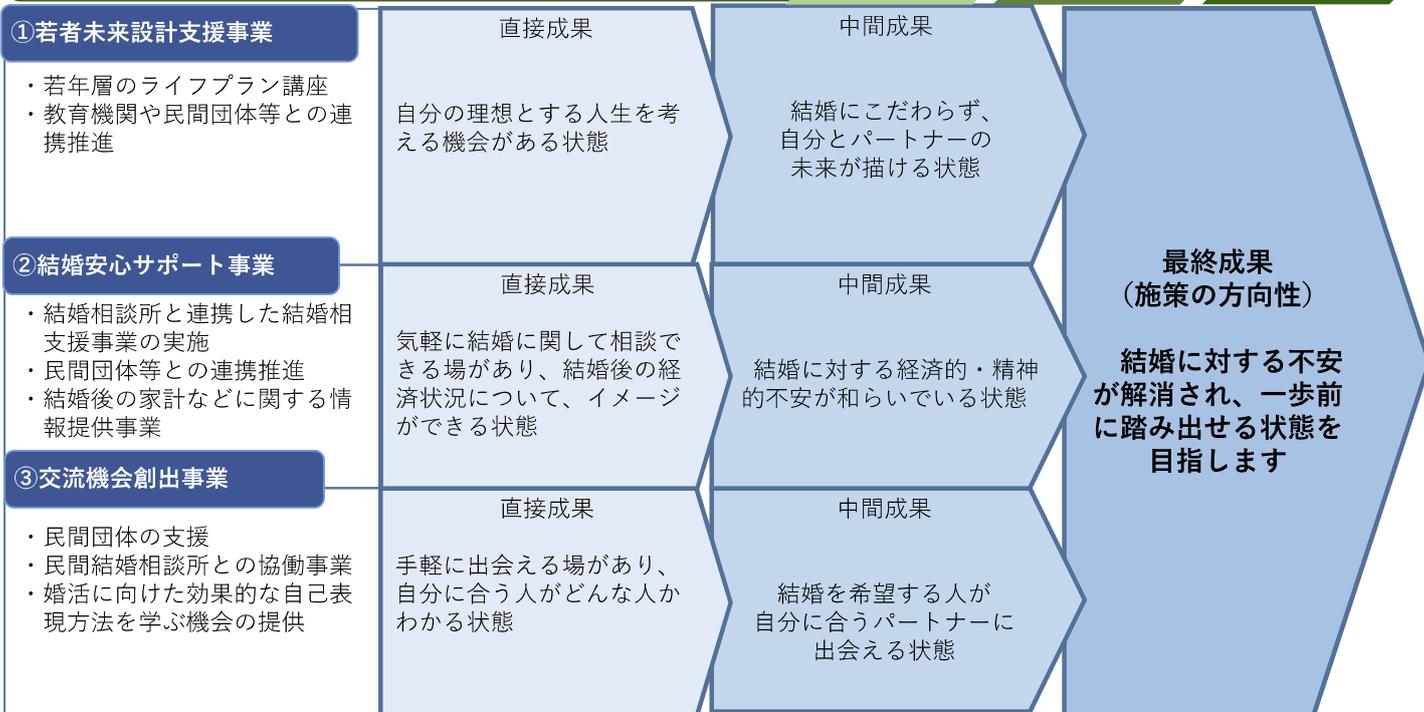
【妊娠届出時の年齢】



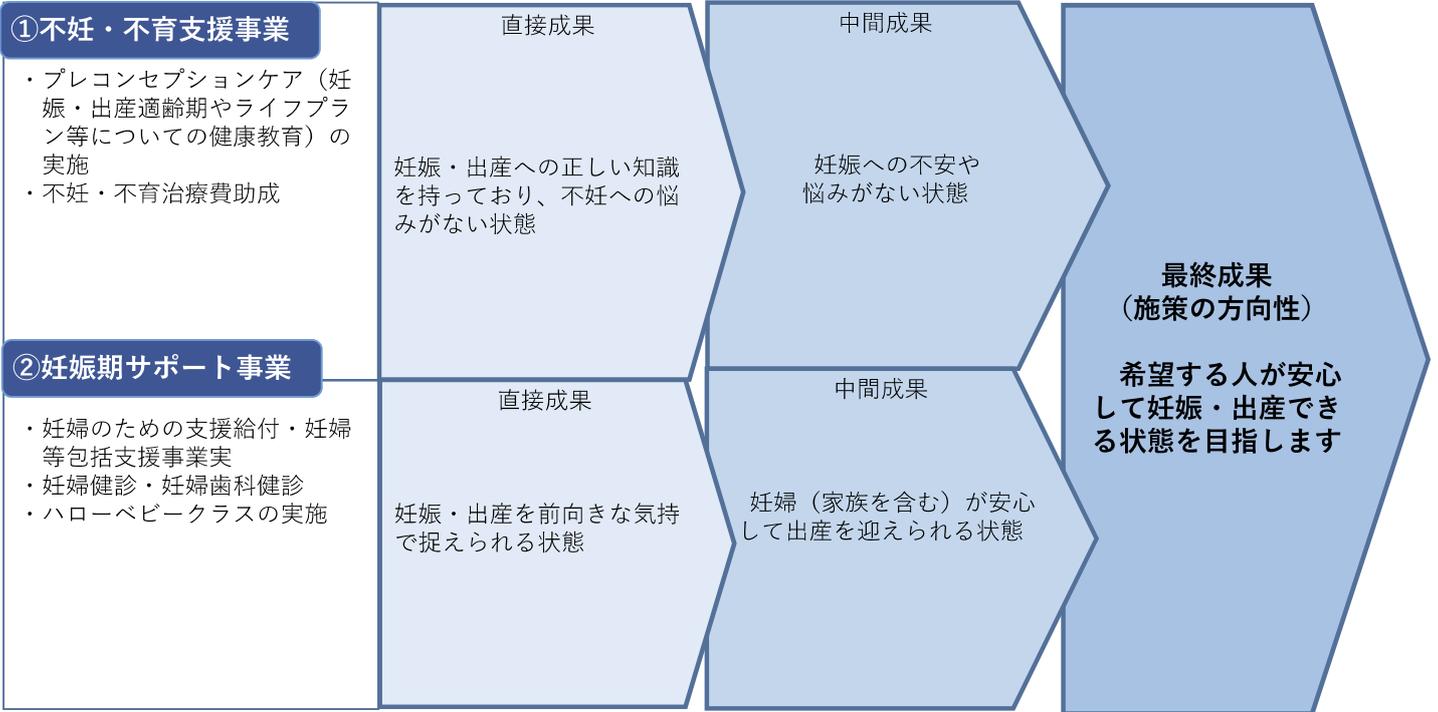
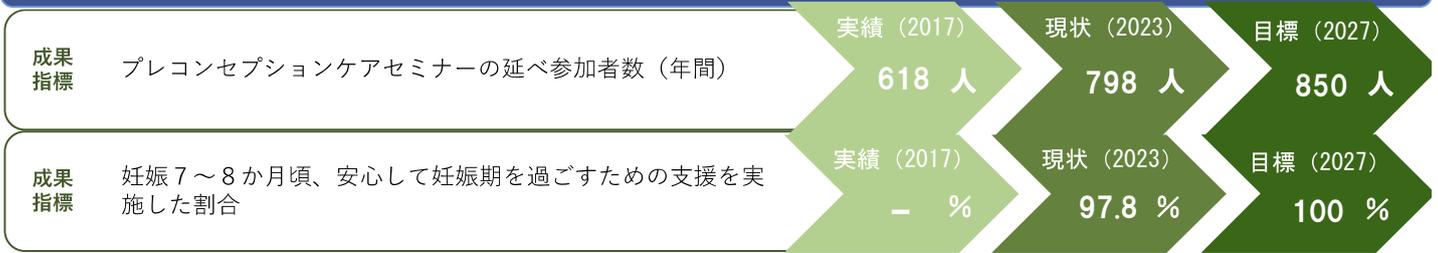
出典: 妊娠届出実績

(8) 結婚の希望が持てる環境づくり

成果指標	実績 (2017)	現状 (2023)	目標 (2027)
中高生ライフプラン講座参加者の満足度	- %	- %	75 %
相談会・交流会参加者の満足度	- %	67 %	75 %
出会い・交流イベントの延べ参加者数 (年間)	- 人	218 人	220 人



(9) 妊娠・出産への支援



2 子育て支援の推進



目標

社会情勢の変化に伴う子育ての不安や悩みを解消することで、誰もが安心して子育てに取り組めるまちを実現します

現状と課題

家族のあり方やライフスタイルの変化に伴って多様化した子育てへの不安や悩みに的確に対応した子育て支援のサービスや場の充実が求められています

市民に期待する役割

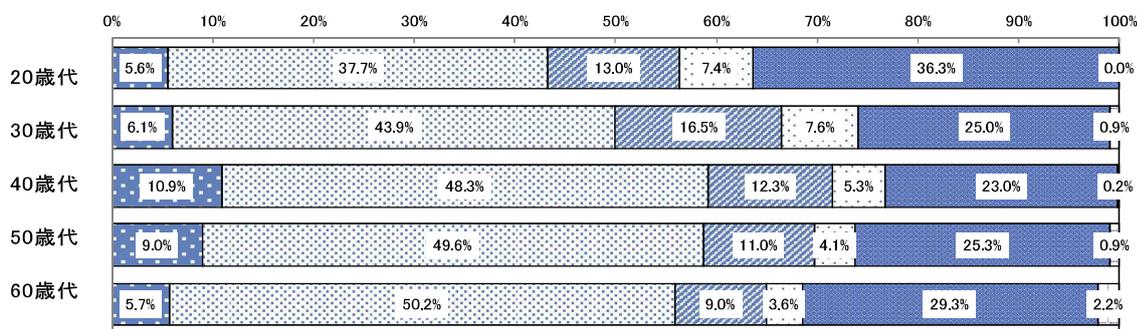
- ・ 子育てに関する悩みなどの相談
- ・ 子育て支援情報の積極的な収集
- ・ 子育て世代の交流への積極的な参加
- ・ 子育て支援事業への参加

企業・団体に期待する役割

- ・ 子育てに関する相談窓口や、交流サロンの設置
- ・ 子育てに関する情報発信・情報提供
- ・ 子育て支援事業の推進

関連データ

【市民アンケート「前橋市は子育てしやすいまちだと思いますか」】



□思う □どちらかといえば思う □どちらかといえば思わない □思わない □わからない □無回答 出典：2023年度市民アンケート

(10) 子育て世代への包括的な支援

成果指標

健やか親子21のアンケートで「お母さんはゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。」で「はい」と回答した親の割合

実績（2017）

79.9%

現状（2023）

80.5%

目標（2027）

80.9%

① 産後子育て支援事業

- ・ 保健師・助産師による乳児家庭全戸訪問事業（こんにちは赤ちゃん事業）
- ・ 妊婦等包括相談支援事業
- ・ 産後ケア・産後ヘルパー事業

直接成果

すべての子育て世代が、孤立せず、子育ての不安や悩みについて相談できる場所を知っている状態

中間成果

子育て世代が気軽に悩みや心配事を相談できる状態

② 子育て相談支援事業

- ・ ワンストップ窓口設置
- ・ 困難な状況に置かれた親子の支援
- ・ フードパントリー・子ども見守り宅食事業の実施

直接成果

特に支援の必要な子育て世代が不安を相談し、支援が受けられている状態

中間成果

子育てが子どもを取り巻く環境に左右されない状態

③ こども発達支援事業

- ・ 発達に問題を抱える子どもと親への支援
- ・ 幼児教育アドバイザー派遣
- ・ 保護者を対象とした講座開催
- ・ 就学相談、幼児教室、ことばの教室開催

直接成果

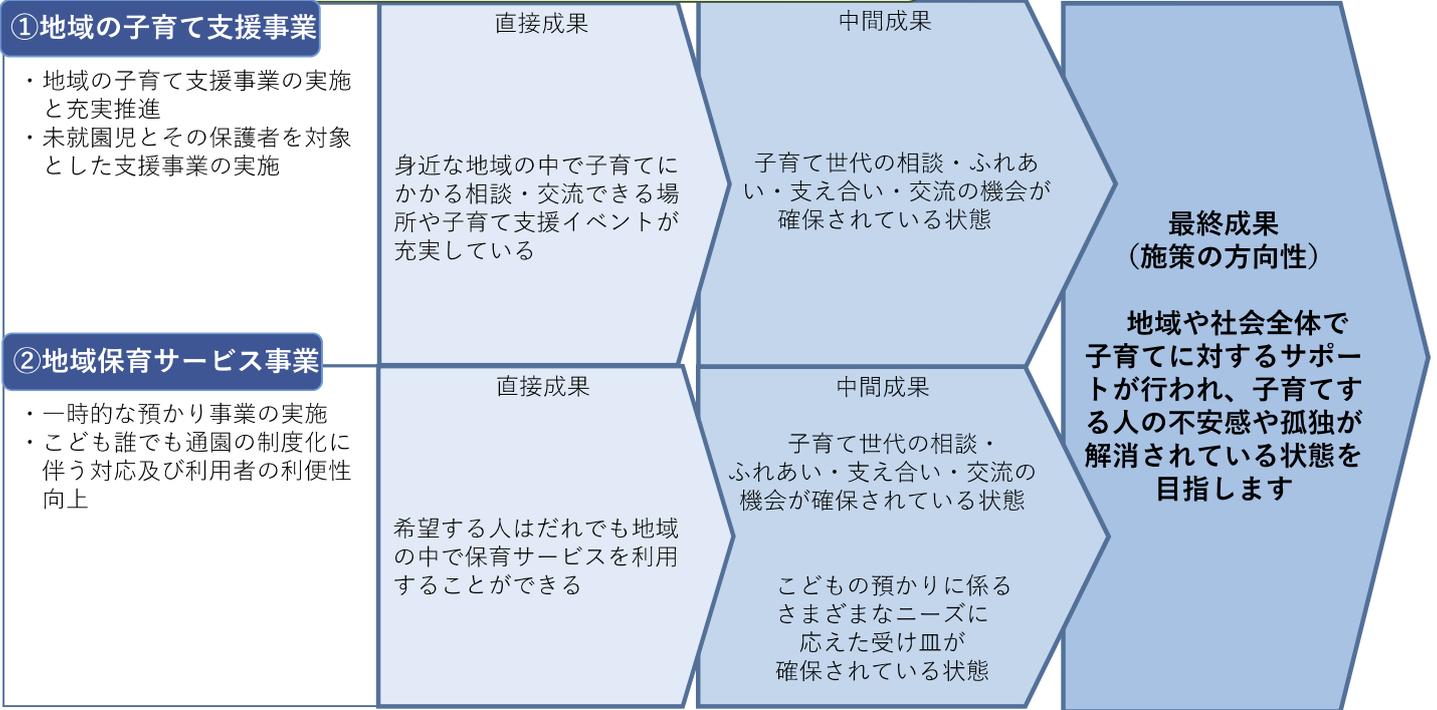
こどもの発達特性を知り、適切な支援を受けられる状態

最終成果（施策の方向性）

子育て世代の誰もが悩みや不安を相談し、安心して子育てできる状態を目指します

(11)地域と連携した子育て支援

成果指標	実績 (2017)	現状 (2023)	目標 (2027)
地域の子育て支援事業の延べ利用者数 (年間)	- 人	76,533 人	73,798 人
一時預かり事業の延べ利用者数 (年間)	- 人	110,213 人	102,265 人
こども誰でも通園制度の延べ利用者数 (年間)	- 人	- 人	624 人



3 子育てと仕事の両立支援



目標

預けたいときに預けることができる体制や、こどもが安全に過ごすことができる地域社会を実現することで、子育てと仕事の両立を可能にします

現状と課題

乳幼児の保育体制の充実や児童が安全に過ごすことができる地域の実現により、子育て世代が安心して子育てと仕事に取り組める社会が求められています

市民に期待する役割

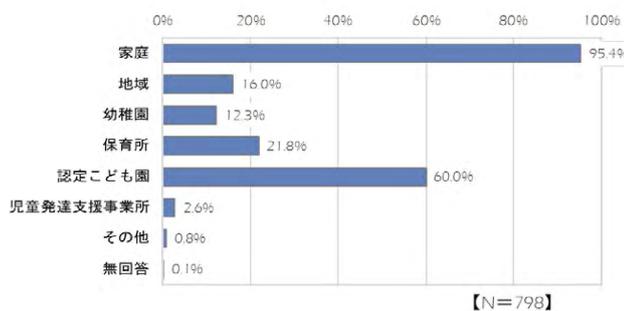
- ・ 保育施設の積極的な活用
- ・ こどもたちを地域で育てる機運醸成
- ・ 地域のこどもと関わる活動への積極的な参加・協力

企業・団体に期待する役割

- ・ 民間保育施設・児童クラブの運営
- ・ 地域によるこどもを見守る体制への参加・人材育成
- ・ 子育てと仕事を両立しやすい環境づくり

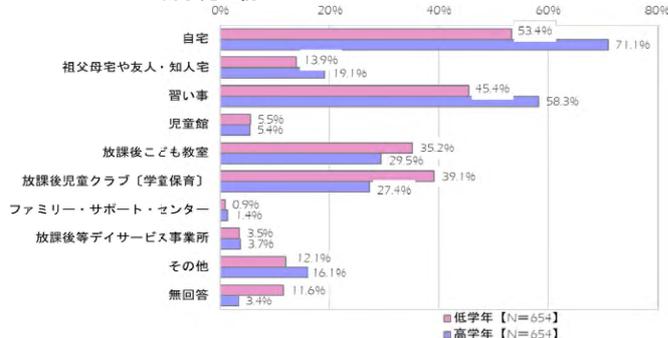
関連データ

【子育てに日常的に関わっている方はどなた(どの施設)ですか】
※未就園児の親



出典：前橋市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査(2024)

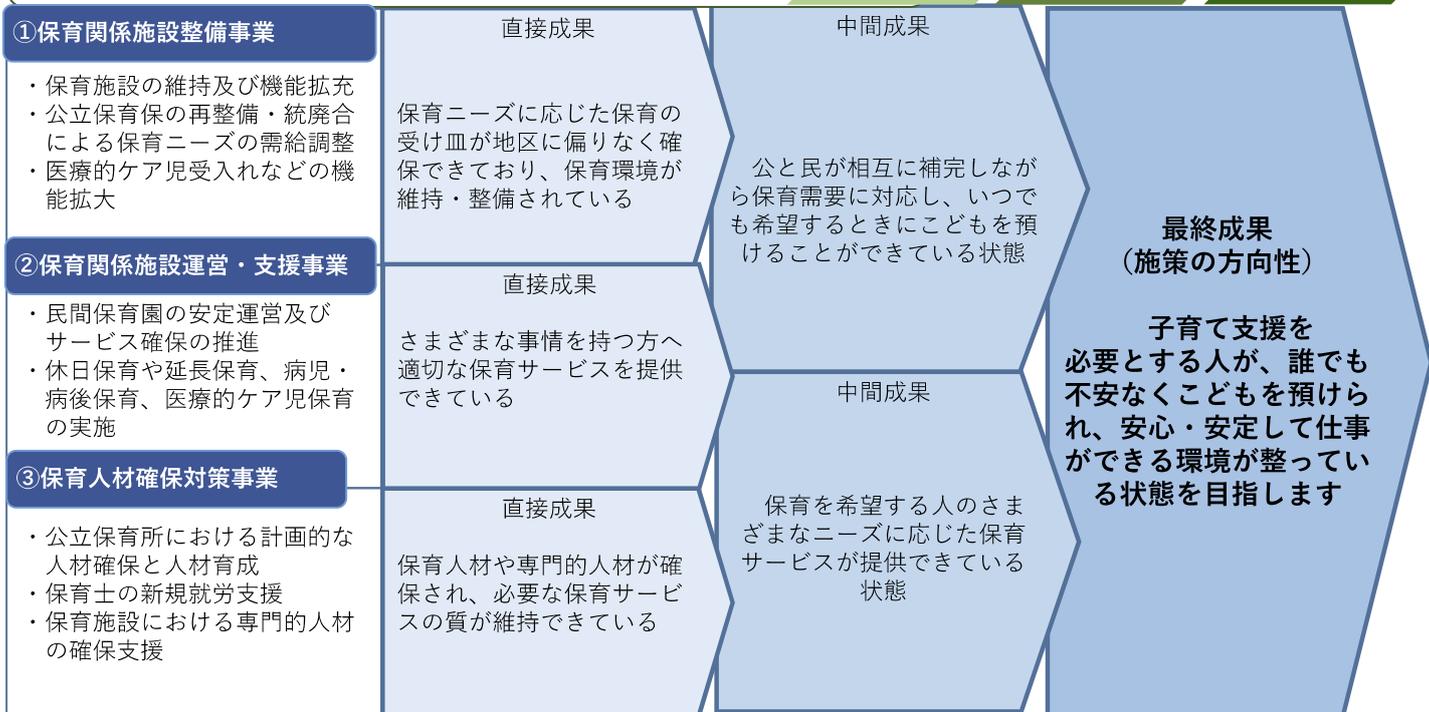
【小学校入学後の放課後のこどもの過ごし方(希望)】
※就学児の親



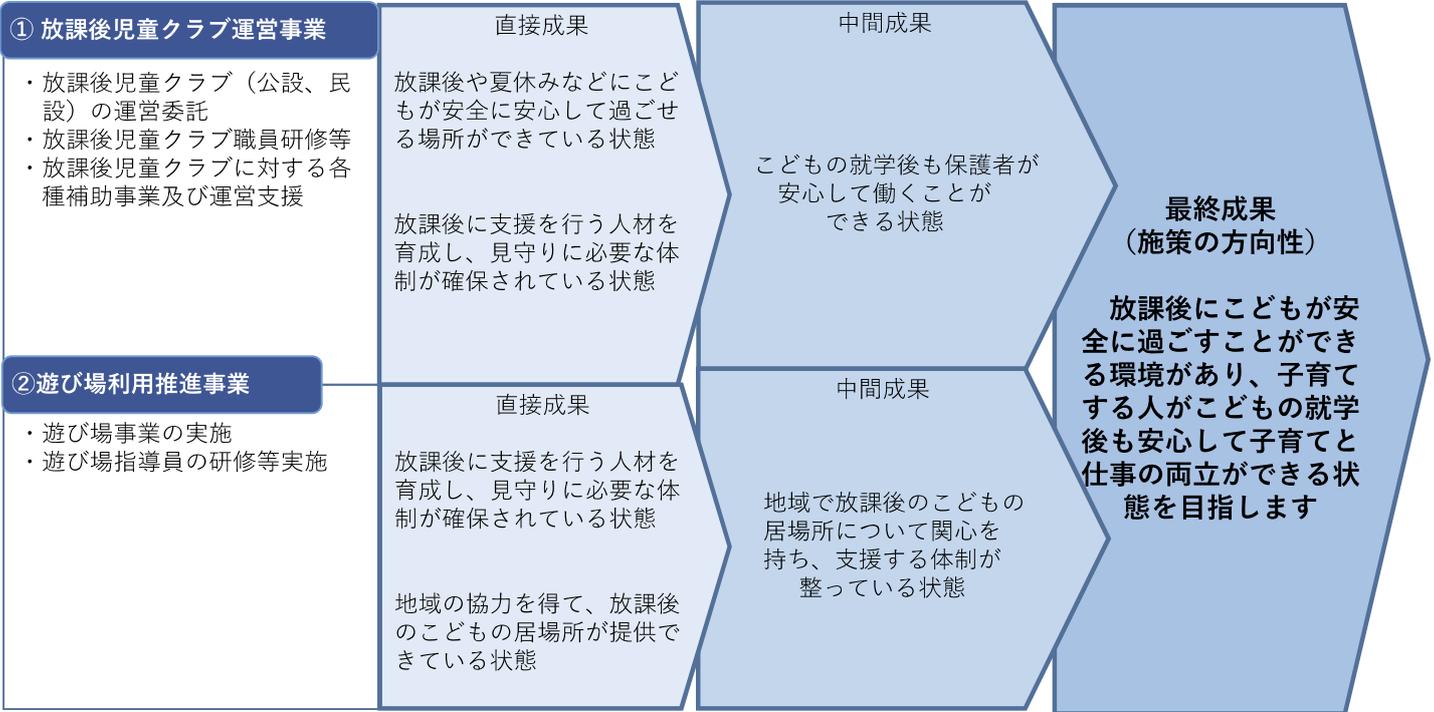
出典：前橋市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査(2024)

(12)就学前の子どもの預け先の確保

成果指標	実績(2017)	現状(2023)	目標(2027)
保育を必要とする3歳未満児の保育所(園)・認定こども園の入所者数(年間)	3,501人	3,754人	3,714人
病児病後保育事業の述べ利用者数(年間)	581人	1,132人	2,862人
希望の保育所(園)・認定こども園に入所した割合	-%	94.5%	93.7%



(13)放課後の子どもの居場所づくり



第3章

生涯活躍のまちづくり

(健康・福祉)

10年後に
目指す姿

充実した医療福祉環境のもと、生涯を通じた心や体の健康づくりを推進するとともに、誰もが自分らしく生きがいを持ち、共に支え合いながら活躍できるまちを目指します。

重点テーマ

生涯にわたる健康の維持

重点施策

- 1 **共生社会**の推進
- 2 健康づくりと介護予防の推進

1 共生社会の推進

目標

地域内の保健・医療・福祉のサービスを一体的に提供することで、一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らし続け、生涯にわたって活躍できる希望をもたらします

現状と課題

本市の地域特性を活かした保健・医療の体制整備や地域福祉の担い手の充実により、個人の特性に応じて市民の健康的な生活を支えることが求められています



市民に期待する役割

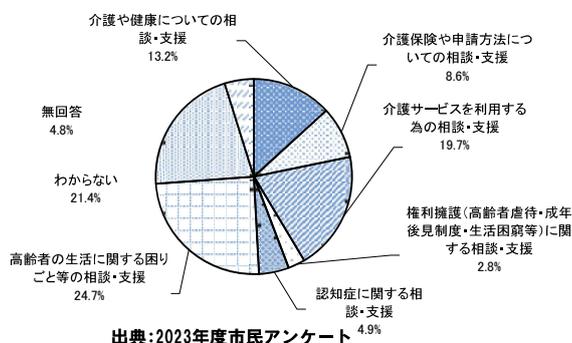
- ・住民同士の交流・見守り・支え合い
- ・地域行事への参加等を通じた関係づくり
- ・障害や認知症への理解

企業・団体に期待する役割

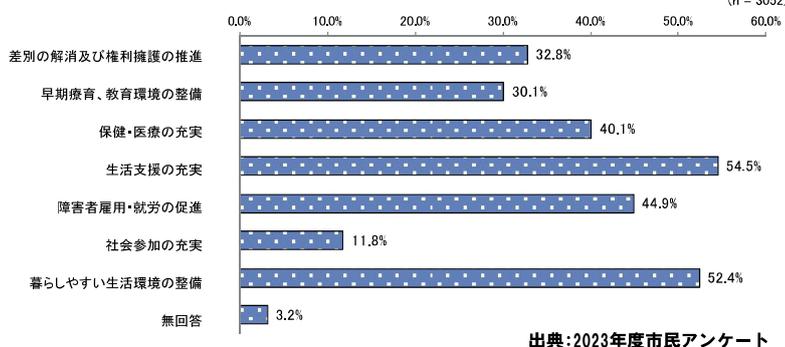
- ・強みを活かした地域課題への貢献
- ・地域の新たな価値に繋がる企業活動
- ・障害者の雇用
- ・障害者就労施設への発注

関連データ

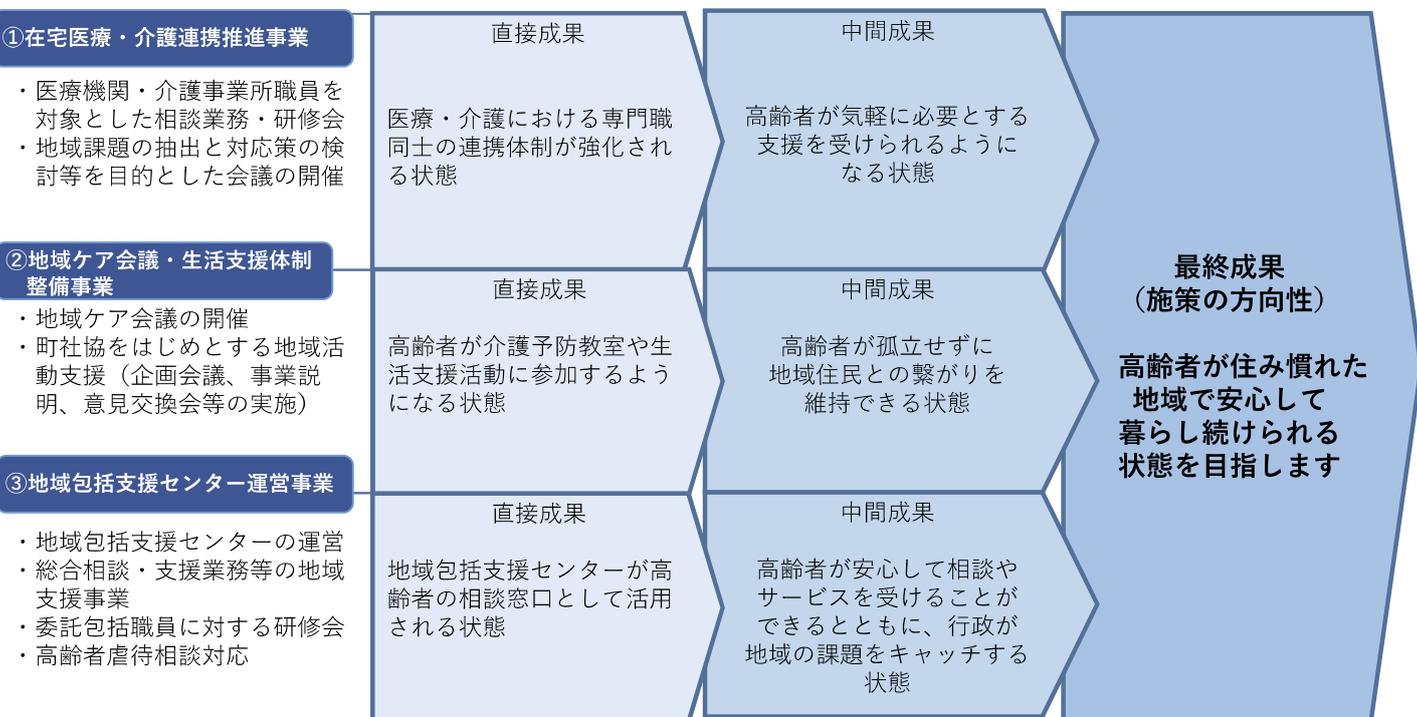
【市民アンケート「高齢者が安心して暮らし続けるために、地域包括支援センターに期待するものはありますか」】



【市民アンケート「障害者が地域で暮らしやすい、共生社会実現のためには、どのような取組が必要だと思いますか」】

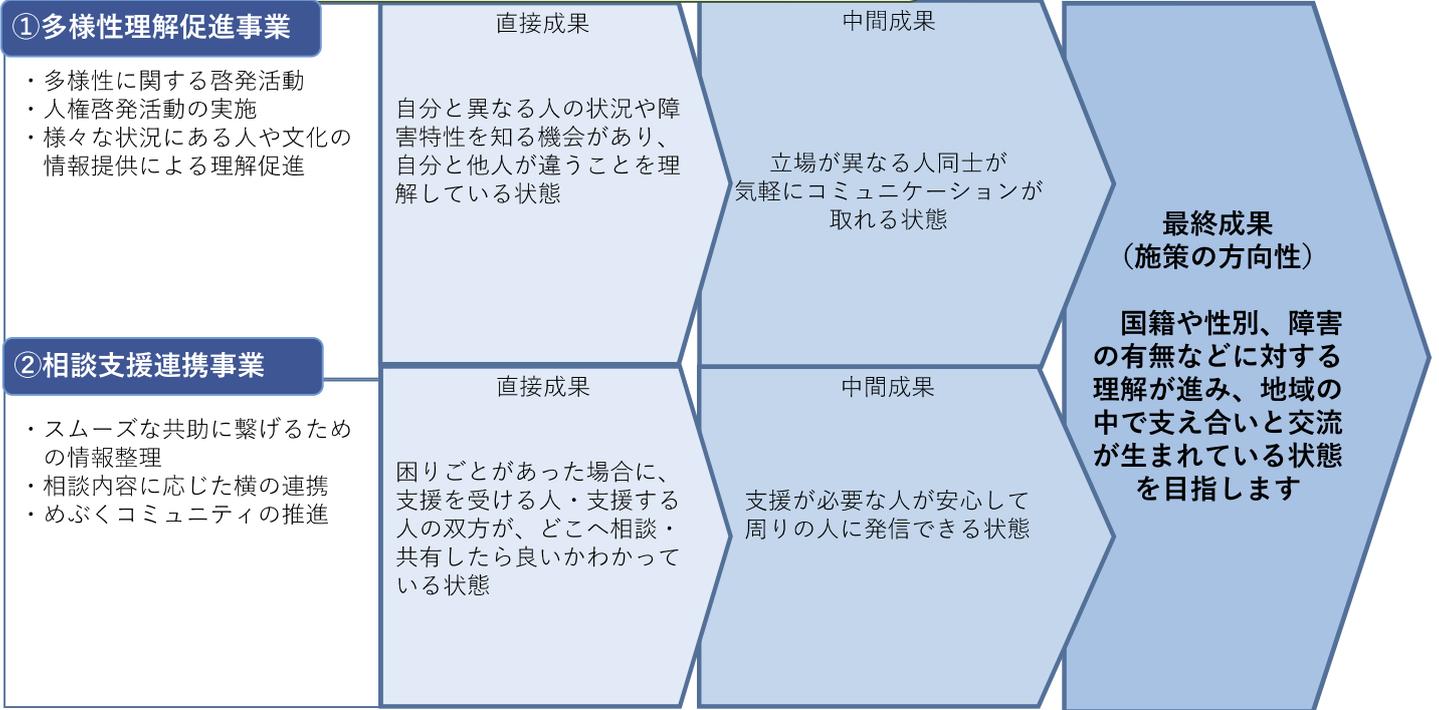


(14)地域包括ケアシステムの推進



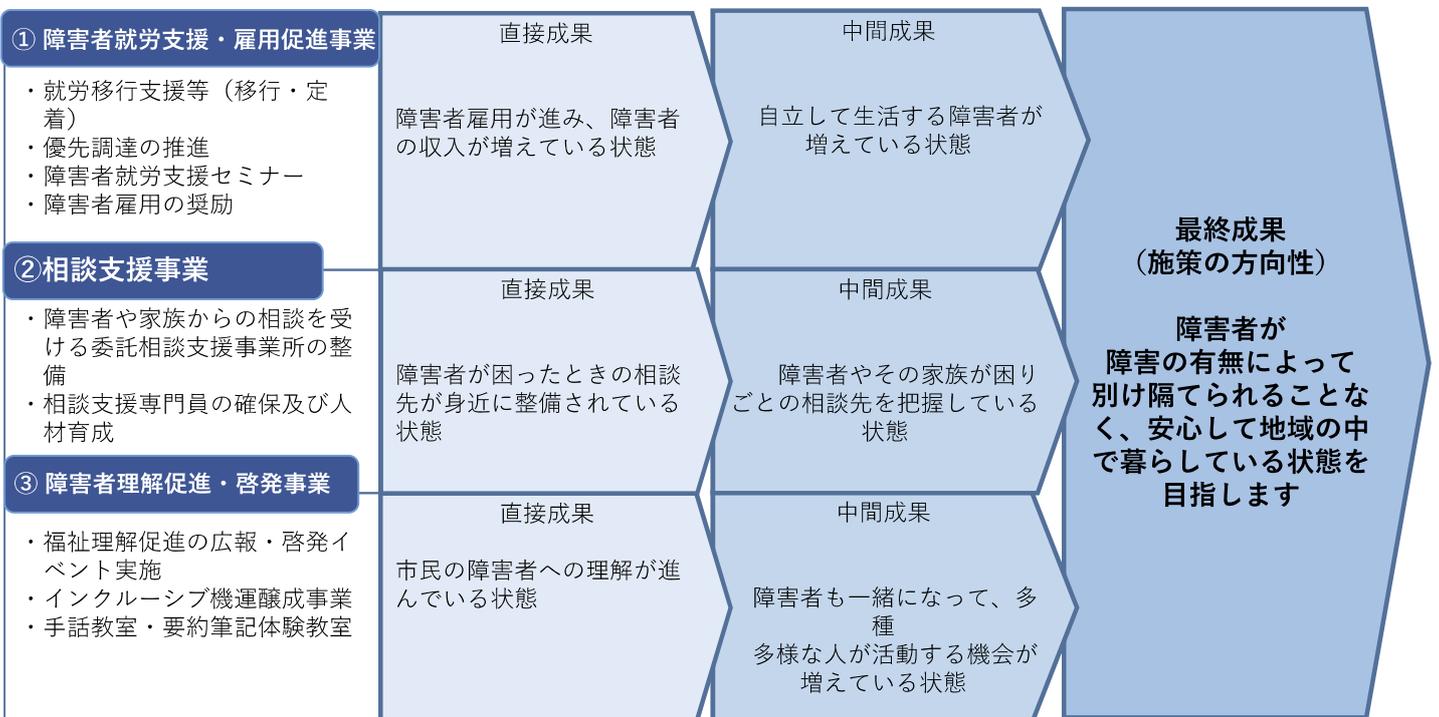
(15)多様性社会の推進

成果指標	人権教室における参加者の理解度	実績(2017)	現状(2023)	目標(2027)
		- %	99 %	100 %
W-Bing	「暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」について「非常にあてはまる」「ある程度当てはまる」と答えた人の割合	実績(2017)	現状(2023)	目標(2027)
		- %	31 %	35 %
W-Bing	「私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」について「非常にあてはまる」「ある程度当てはまる」と答えた人の割合	実績(2017)	現状(2023)	目標(2027)
		- %	53.5 %	55.5 %



(16)障害者の活躍促進

成果指標	障害者就労施設から一般就労へ移行した人数(年間)	実績(2017)	現状(2023)	目標(2027)
		17 人	35 人	40 人
成果指標	市役所(市長部局)における障害者雇用率	実績(2019)	現状(2023)	目標(2027)
		2.07 %	2.58 %	3.0 %



2 健康づくりと介護予防の推進



目標

予防から治療までの支援を切れ目なく行い、一人ひとりの心身の健康が守られている暮らしをもたらします

現状と課題

健康で豊かな生活の実現のため、生活習慣病や心の病気、感染症を予防する取組や支え合いが求められています

市民に期待する役割

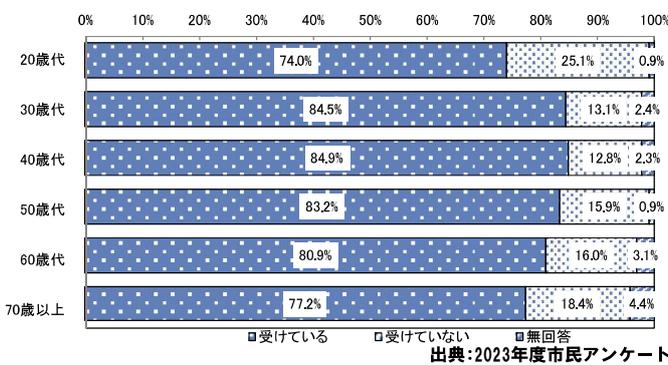
- ・健康を心がけた、生活習慣の見直し
- ・定期的な健康診査の受診
- ・介護予防のための体操参加
- ・地域の居場所づくり・支え合い

企業・団体に期待する役割

- ・健康診査等の受診勧奨
- ・従業員の健康増進・介護予防の推進
- ・企業・団体における担い手の育成
- ・サービス従事者の雇用・定着促進

関連データ

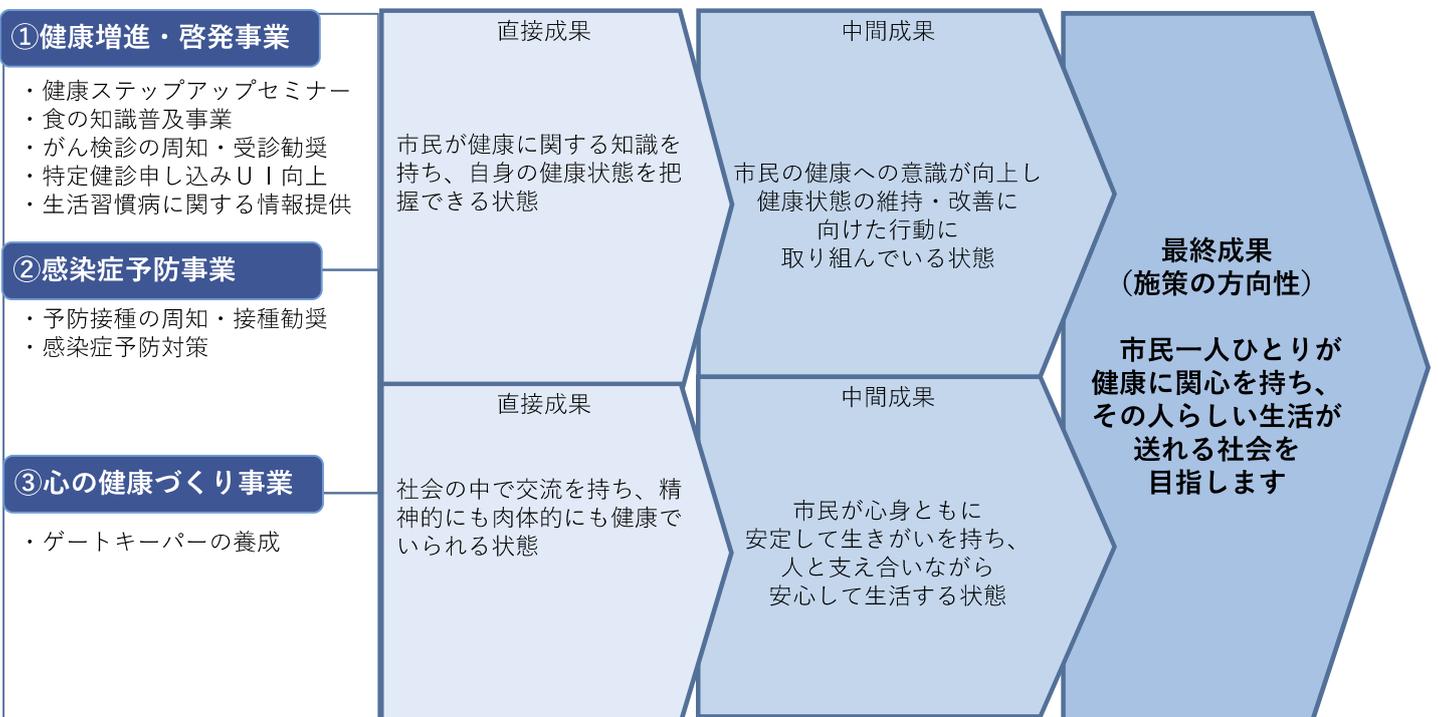
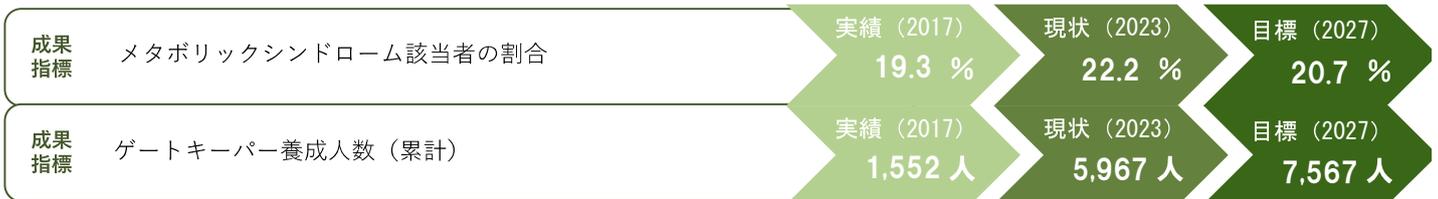
【市民アンケート「あなたは健康診断(検診)を受けていますか」】



【要介護等認定者及び要介護認定率】

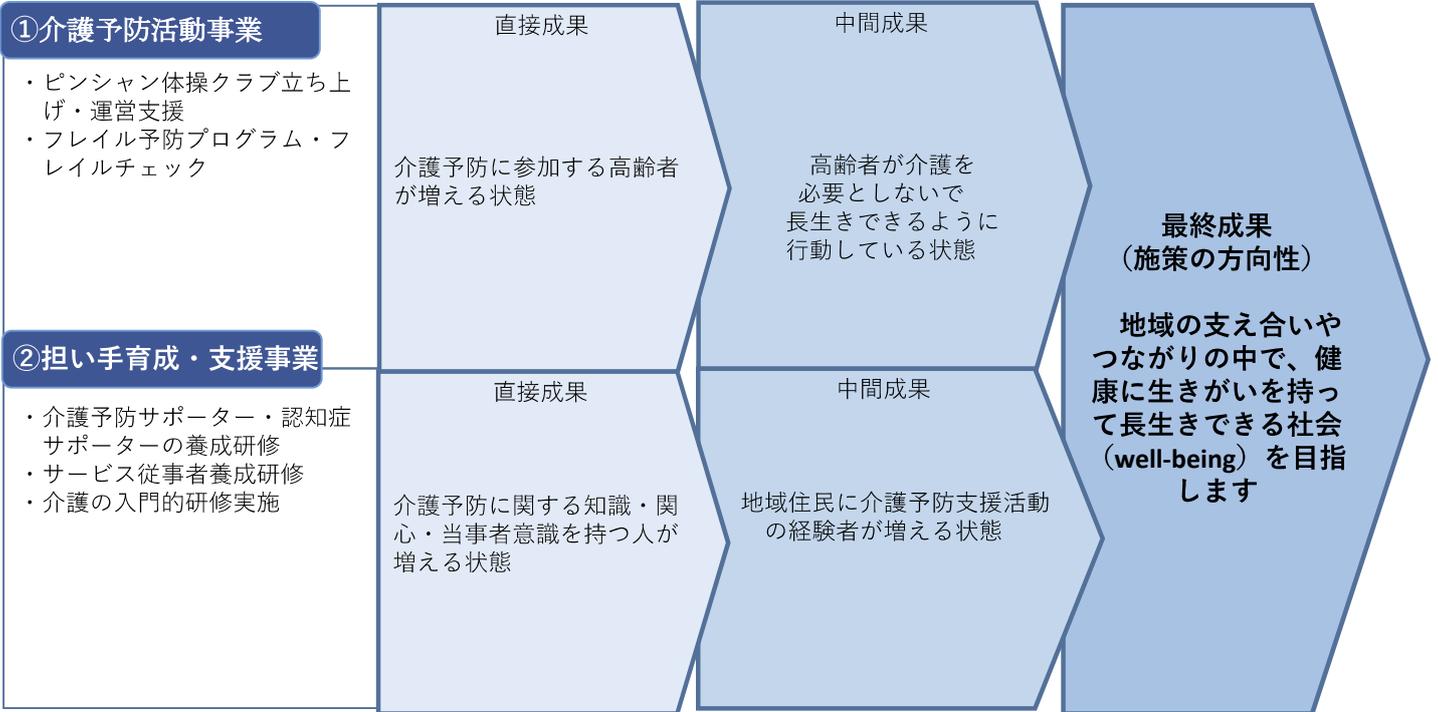


(17)心身の健康づくり事業の推進



(18)介護予防と高齢社会を支える人づくりの推進

成果指標	介護予防に向けた体操（体操クラブ含む）参加者数（年間）	実績（2017） 100,404 人	現状（2023） 109,276 人	目標（2027） 113,276 人
成果指標	介護予防の担い手の実際の活動人数（年間）	実績（2017） - 人	現状（2023） 1,412 人	目標（2027） 1,852 人



第4章

活気あふれるまちづくり (産業振興)

10年後に 目指す姿

既にあるしごとの魅力を高めるとともに、
新たなしごとを創出し、
市民それぞれが個性を活かして活躍できる
ビジネスチャンスにあふれたまちを目指します。

重点テーマ

地域産業の新たな展開

重点施策

- 1 地域産業の基盤強化・活性化
- 2 働く意欲と機会の創出
- 3 魅力ある農林業への転換

1 地域産業の基盤強化・活性化



目標

多様で魅力的な産業や雇用の場を生み出す環境を整備し、まちににぎわいと活力をもたらします

現状と課題

地域産業の基盤強化を図るとともに、前橋の強みを活かしながら、地域経済をけん引する産業の発展や企業の誘致が求められています

市民に期待する役割

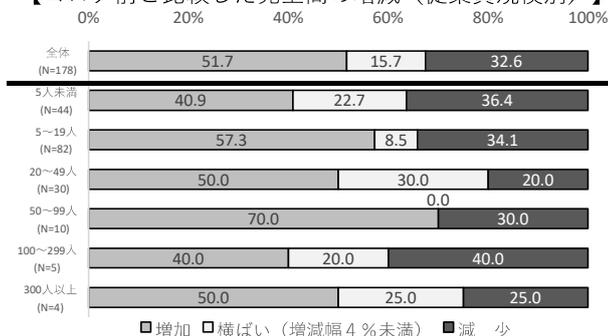
- ・市内事業者の積極的な利用
- ・工業団地造成に対する理解
- ・立地企業・進出企業に対する理解

企業・団体に期待する役割

- ・製品開発・技術開発の推進
- ・産業支援制度の積極的な活用
- ・進出企業との事業連携
- ・民間物件活用に関する協力

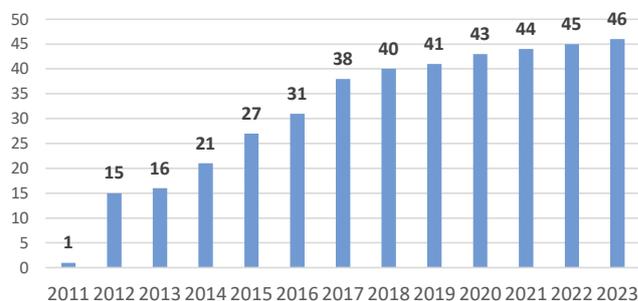
関連データ

【コロナ前と比較した売上高の増減（従業員規模別）】



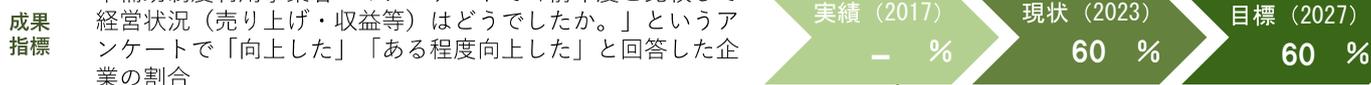
出典：前橋市産業振興ビジョン令和7年度改訂版策定にかかるアンケート調査結果

【産業適地への企業立地件数（累計）】



出典：事業実績

(19)事業者の事業継続支援と新市場の開拓



①経営基盤強化事業

- ・企業融資の支援
- ・専門家派遣による相談支援
- ・事業承継に対する支援検討
- ・事業者への継続的伴走支援

直接成果

企業が経営を健全に継続している状態

中間成果

収益力が高く、企業体力がある状態

②必要人材確保・育成事業

- ・雇用人材の技術取得支援
- ・採用時企業負担軽減事業検討
- ・企業魅力発信

直接成果

企業が求めている人材を安定的に採用できる状態

中間成果

事業継続・発展に対して必要な人材の確保ができている状態

③経営支援事業

- ・企業の設備投資支援
- ・企業のDX推進取組支援
- ・企業の新製品開発支援
- ・店舗等の改装工事や備品購入の支援

直接成果

DX推進・設備投資をととして事業の再編に取り組まれている状態

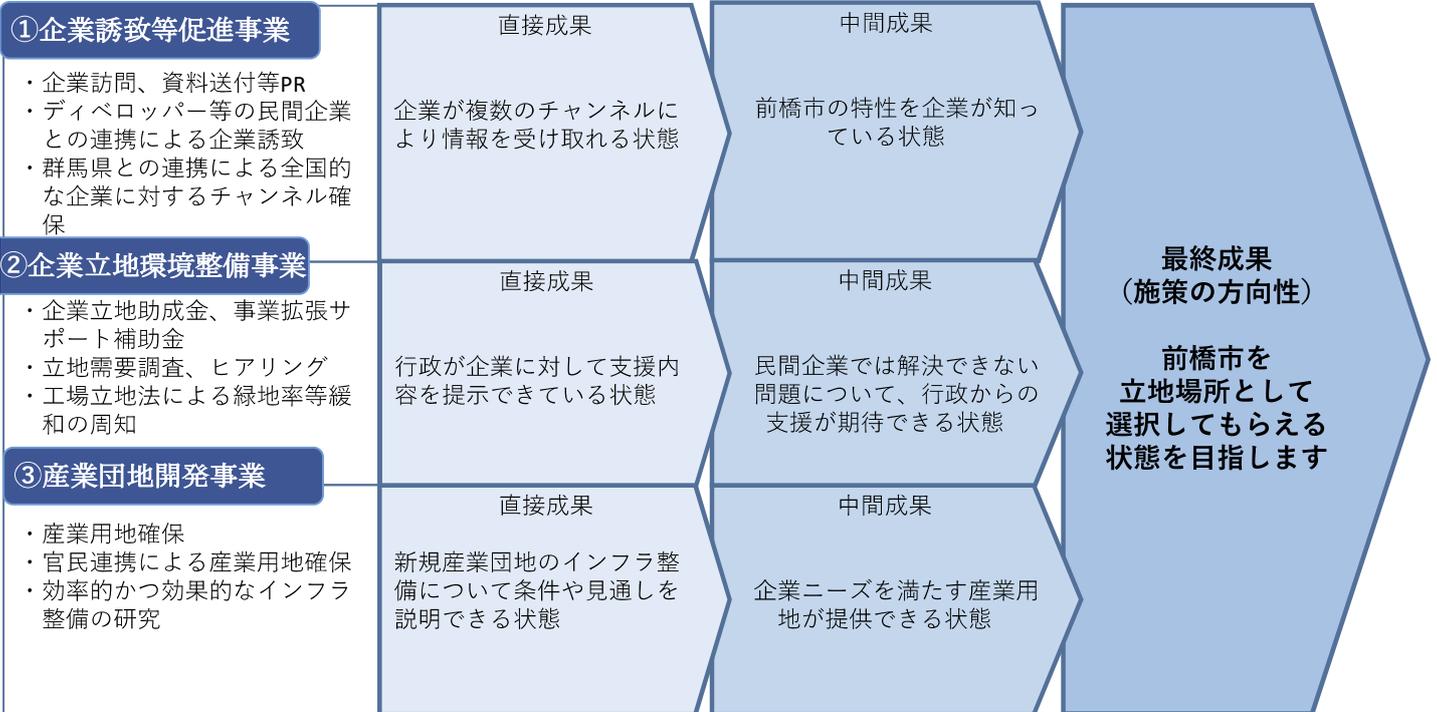
中間成果

生産性の向上により、事業の合理化・再編が図られている状態

最終成果
(施策の方向性)

社会経済情勢の変化に対応できる事業者が多く存在する状態を目指します

(20)企業立地の推進



2 働く意欲と機会の創出

目標

多様な人材がそれぞれのライフスタイルの中で能力を発揮できるとともに、新しいビジネスに挑戦できる社会を実現します



現状と課題

年齢や性別を問わずだれもが意欲を持って働く環境を整備するとともに、積極的な起業支援が求められています

市民に期待する役割

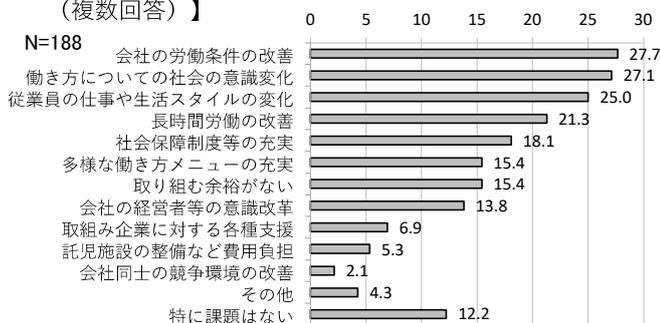
- ・ 就労・スキルアップへの取組
- ・ 就職支援事業の活用
- ・ 積極的な社会参加
- ・ 起業への挑戦

企業・団体に期待する役割

- ・ 職場環境・制度の整備
- ・ 自社情報の積極的な発信
- ・ 雇用の創出、人材育成
- ・ 起業家への理解や支援

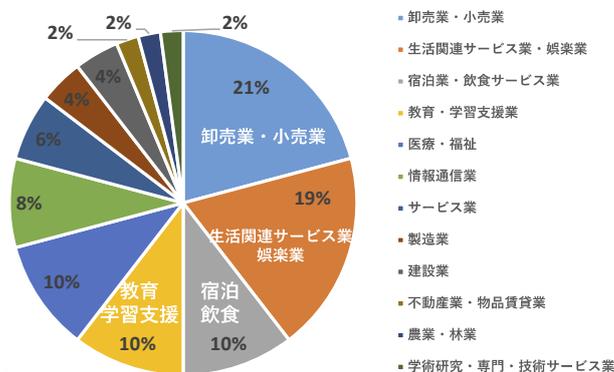
関連データ

【企業におけるワークライフバランスに取り組むうえでの課題（複数回答）】



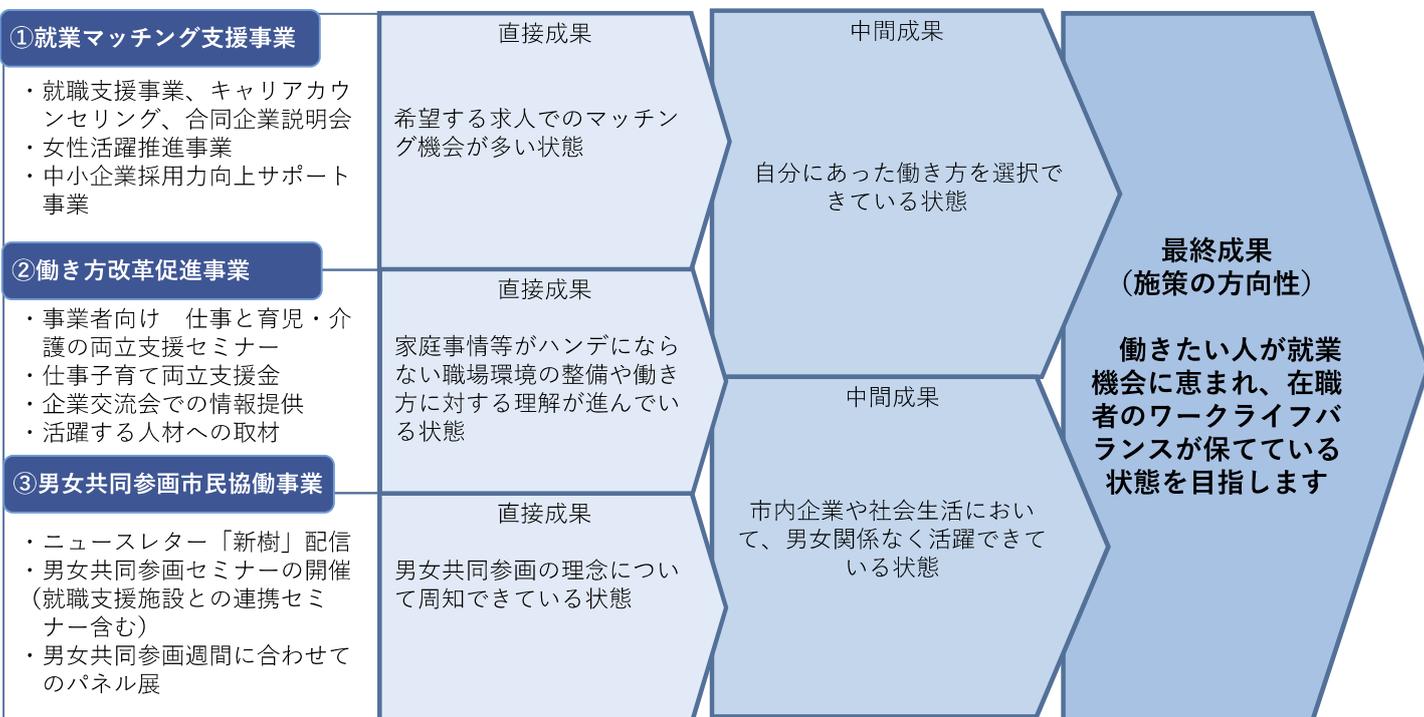
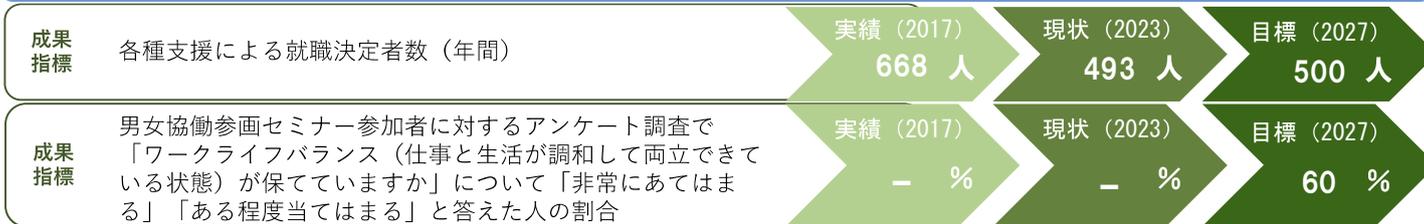
出典：前橋市産業振興ビジョン令和7年度改訂版策定にかかるアンケート調査結果

【特定創業支援の業種内訳】



出典：事業実績

(21)就業機会の充実と多様な働き方の推進



(22) 包括的な起業支援



3 魅力ある農林業への転換



目標

農業経営の安定や農業所得を向上させ、国内外での競争力を高めることにより、魅力ある農林業への転換を図ります

現状と課題

担い手確保等による経営基盤の改善や、付加価値の高い農畜産物の精算・販売による農林業の推進が求められています

市民に期待する役割

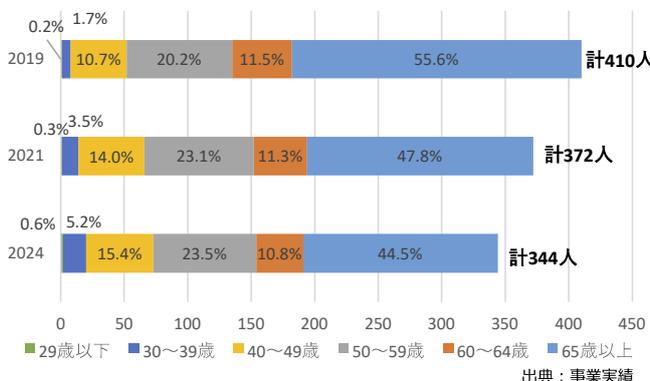
- ・ 職業としての農林業への関心
- ・ 生産者との交流による生産への理解
- ・ 所有農地の農地としての維持
- ・ 前橋産農畜産物への関心・消費推進

企業・団体に期待する役割

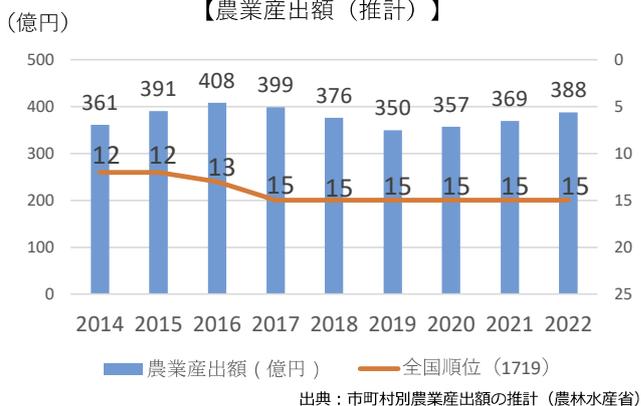
- ・ 担い手の確保・育成
- ・ 農業経営の効率化・生産性向上
- ・ 農商工連携や6次産業化
- ・ 前橋産であることの積極的なPR

関連データ

【認定農業者数の推移】

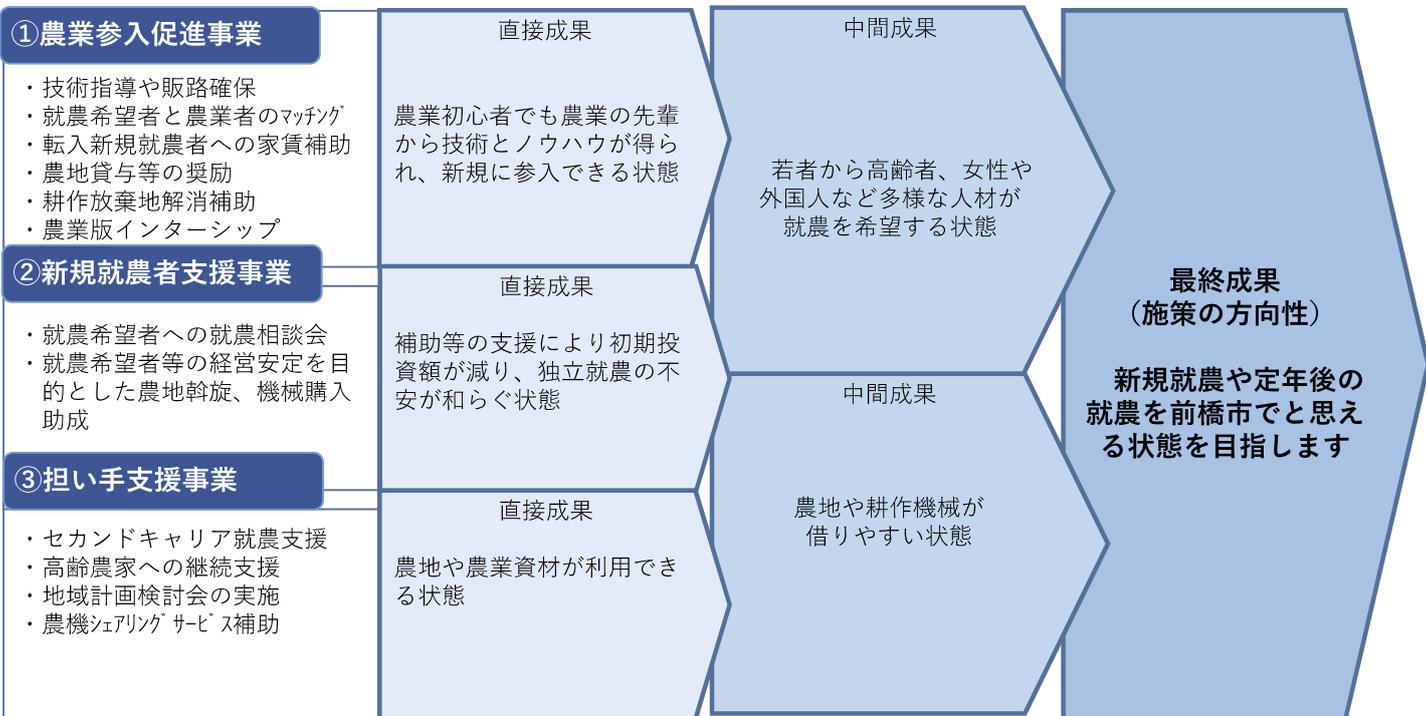


【農業産出額（推計）】

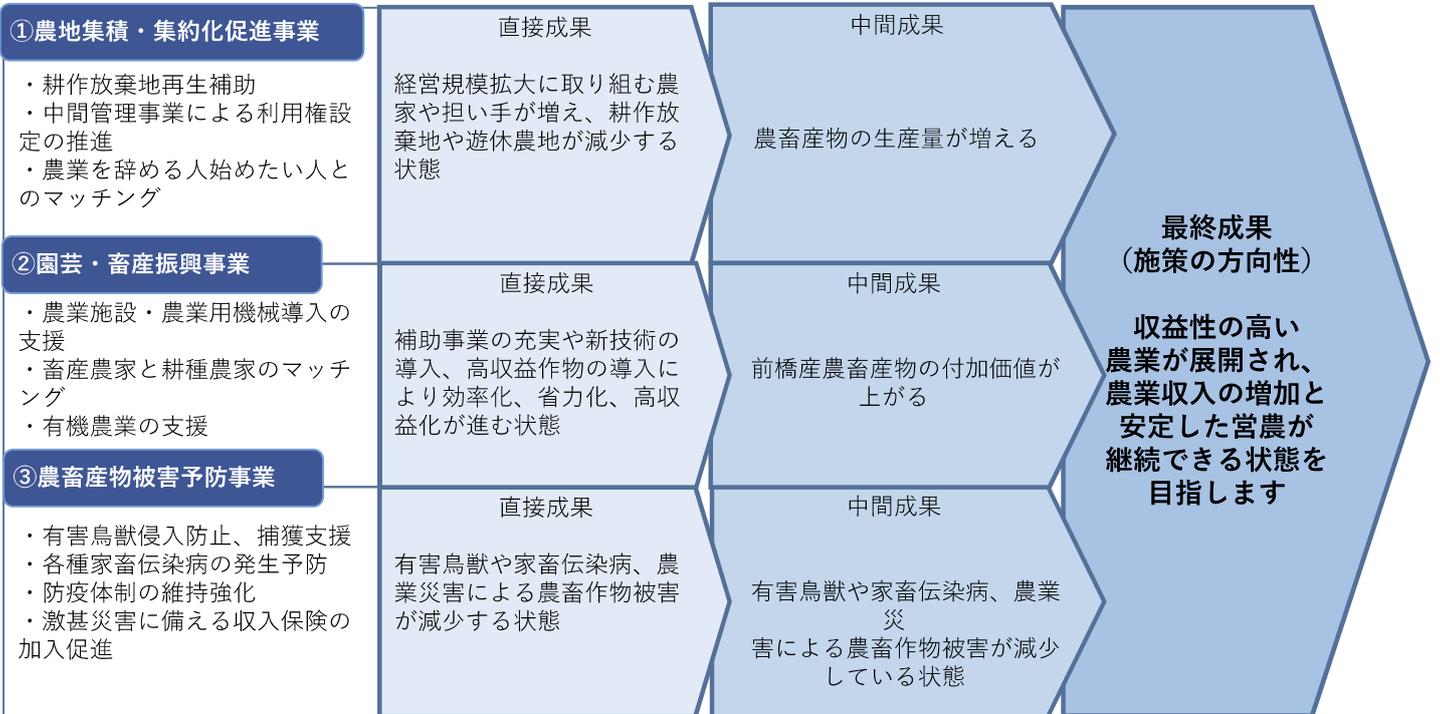


(23)地域農業の担い手の確保・育成

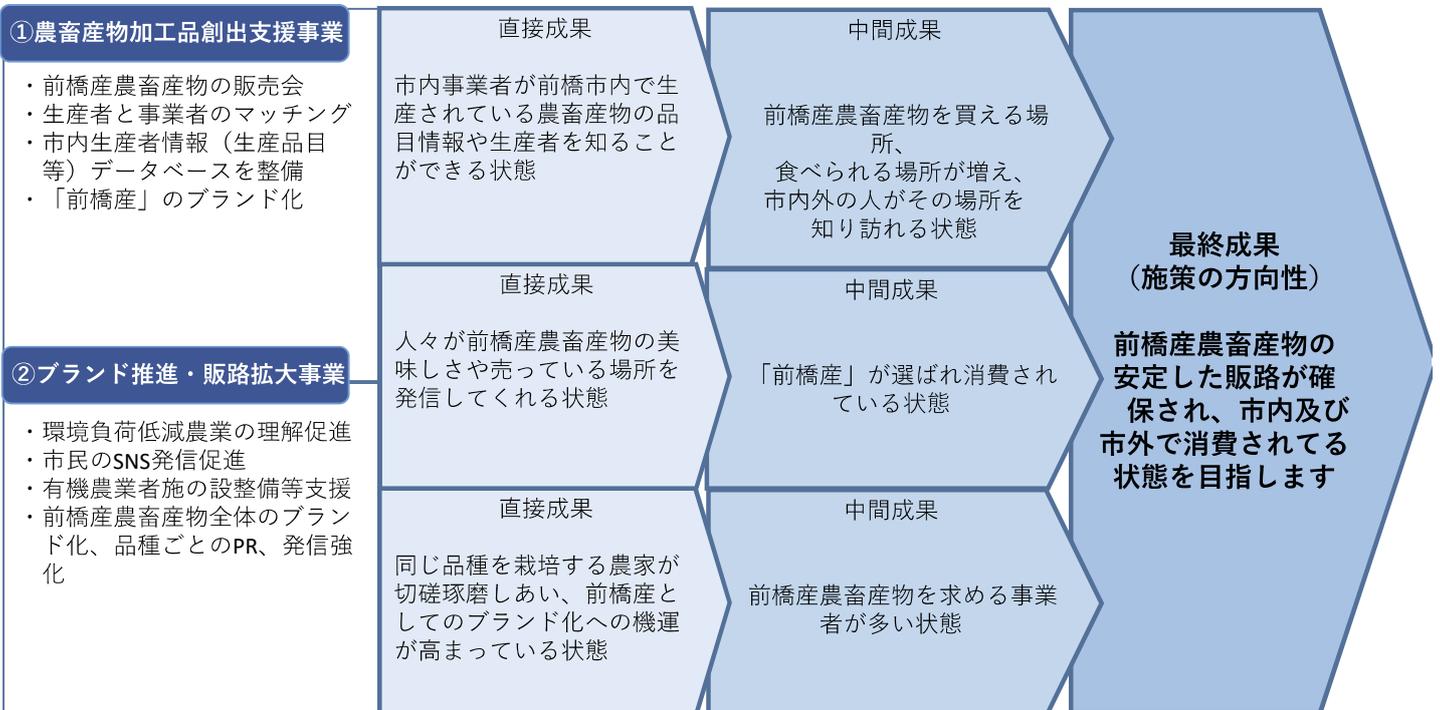
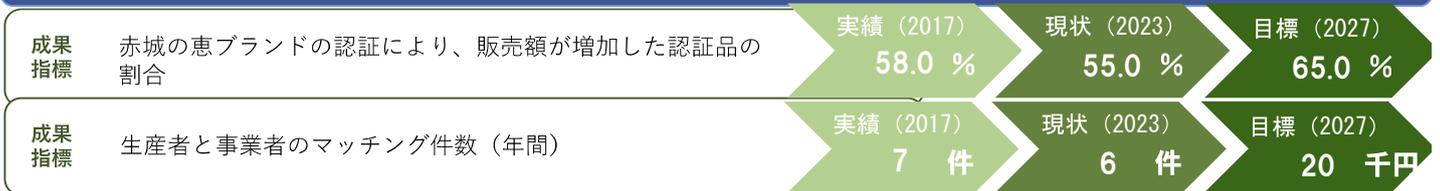
成果指標	実績 (2017)	現状 (2023)	目標 (2027)
新規就農者数（年間）※雇用就農者を含む	46 人	41 人	43 人
法人参入数（年間）	1 件	35 件	47 件



(24)農業基盤の安定支援



(25)実効性の高い販売戦略の展開



第5章

魅力あふれるまちづくり (シティプロモーション)

10年後に
目指す姿

地域の魅力を創造・発信し、
誰もが訪れ、
住み続けたいくなるまちを目指します。

重点テーマ

前橋らしさの創出

重点施策

- 1 地域資源を活かした新たな観光振興
- 2 移住・定住促進
- 3 市民主体の魅力づくりの推進
- 4 魅力的なまちづくりの推進

1 地域資源を活かした新たな観光振興



目標

前橋の持つ地域資源を活用した観光・歴史文化・スポーツ振興を推進し、まちににぎわいをもたらします

現状と課題

民間の力を活かした豊かな自然や観光資源の利用に加え、歴史文化・スポーツを活用した観光振興が求められています

市民に期待する役割

- ・ 赤城山の魅力の情報発信
- ・ 歴史文化芸術の認識向上
- ・ スポーツをする・みる・ささえる
- ・ 市内の観光資源を楽しむ

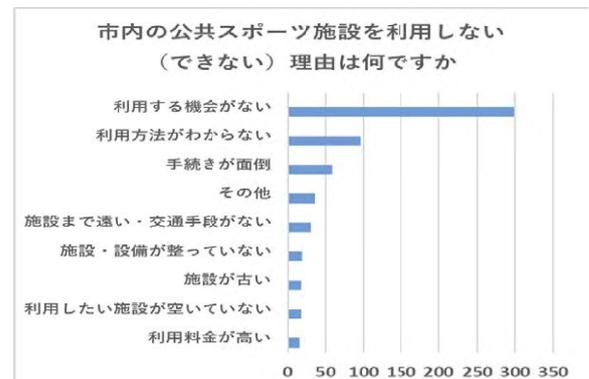
企業・団体に期待する役割

- ・ 地域の魅力の発掘・発信
- ・ 歴史文化芸術に触れる機会の提供
- ・ スポーツを通じた地域貢献の取組
- ・ 観光事業者等との積極的な連携

関連データ



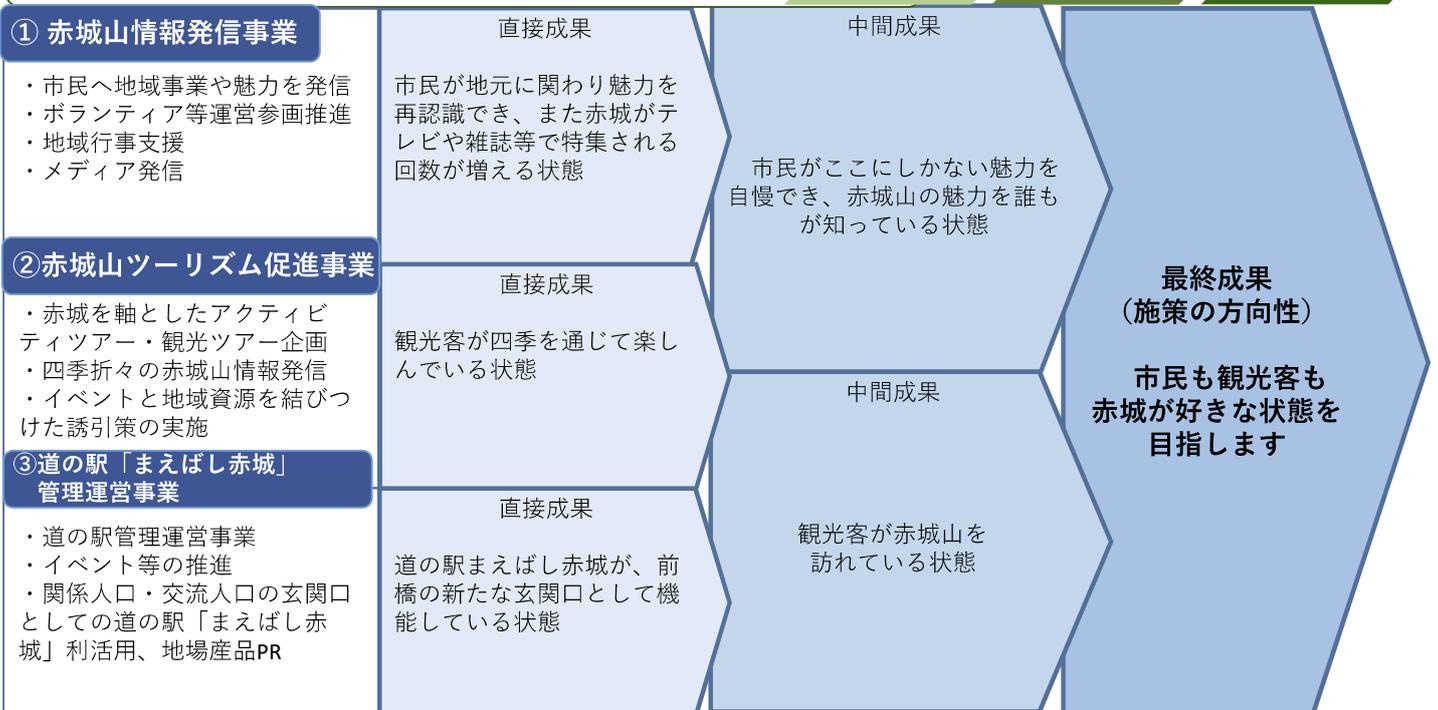
出典：群馬県観光入込客統計調査報告書



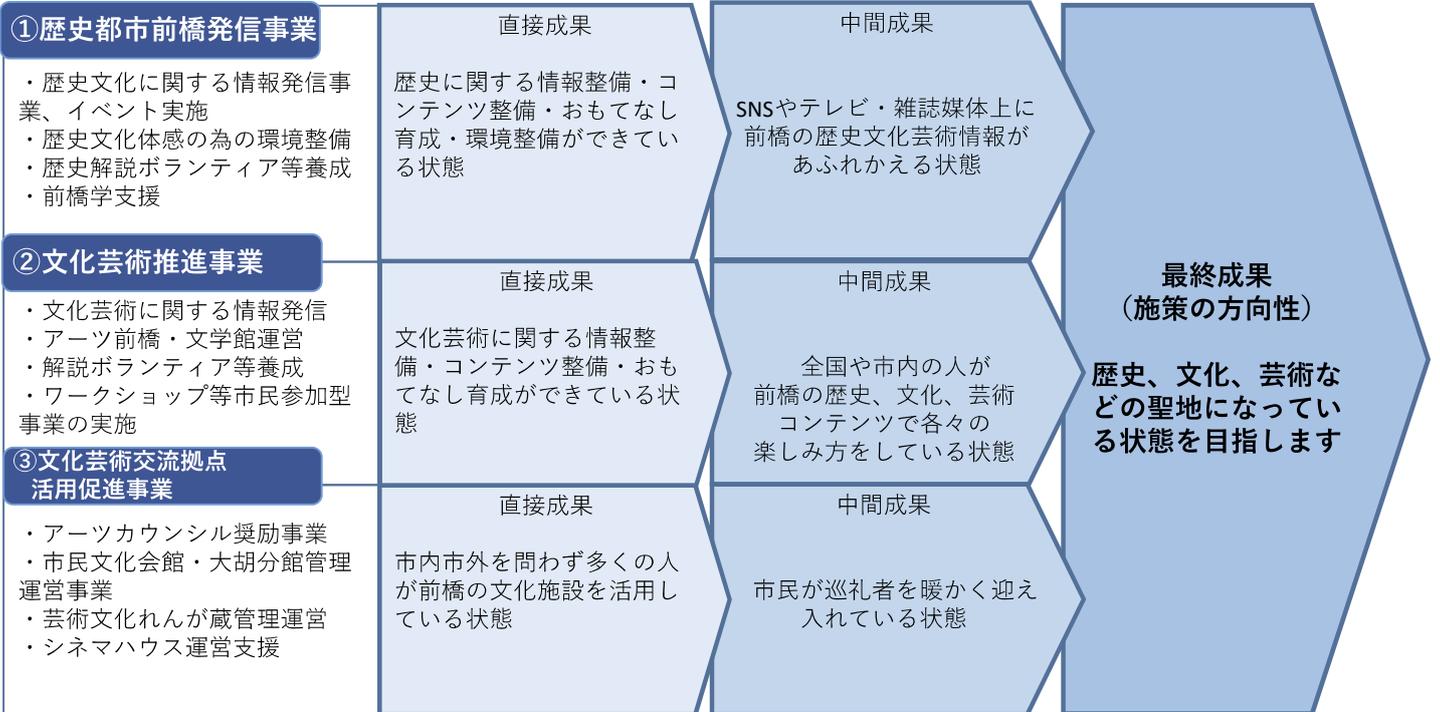
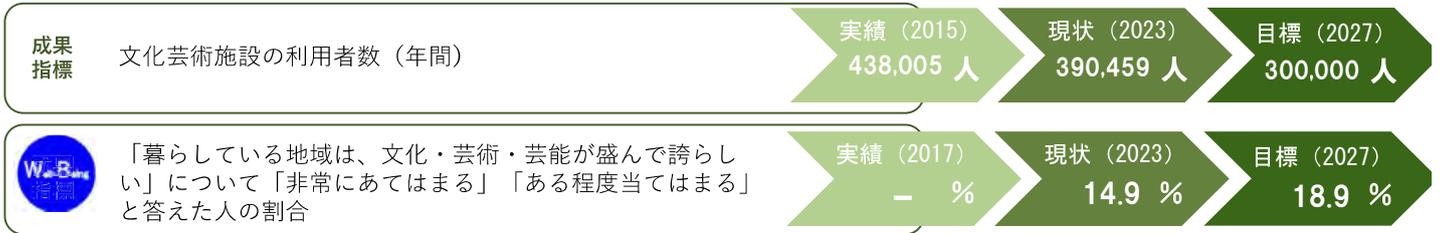
出典：2021年度前橋市運動・スポーツに関するアンケート集計結果

(26)赤城山を核とした観光振興

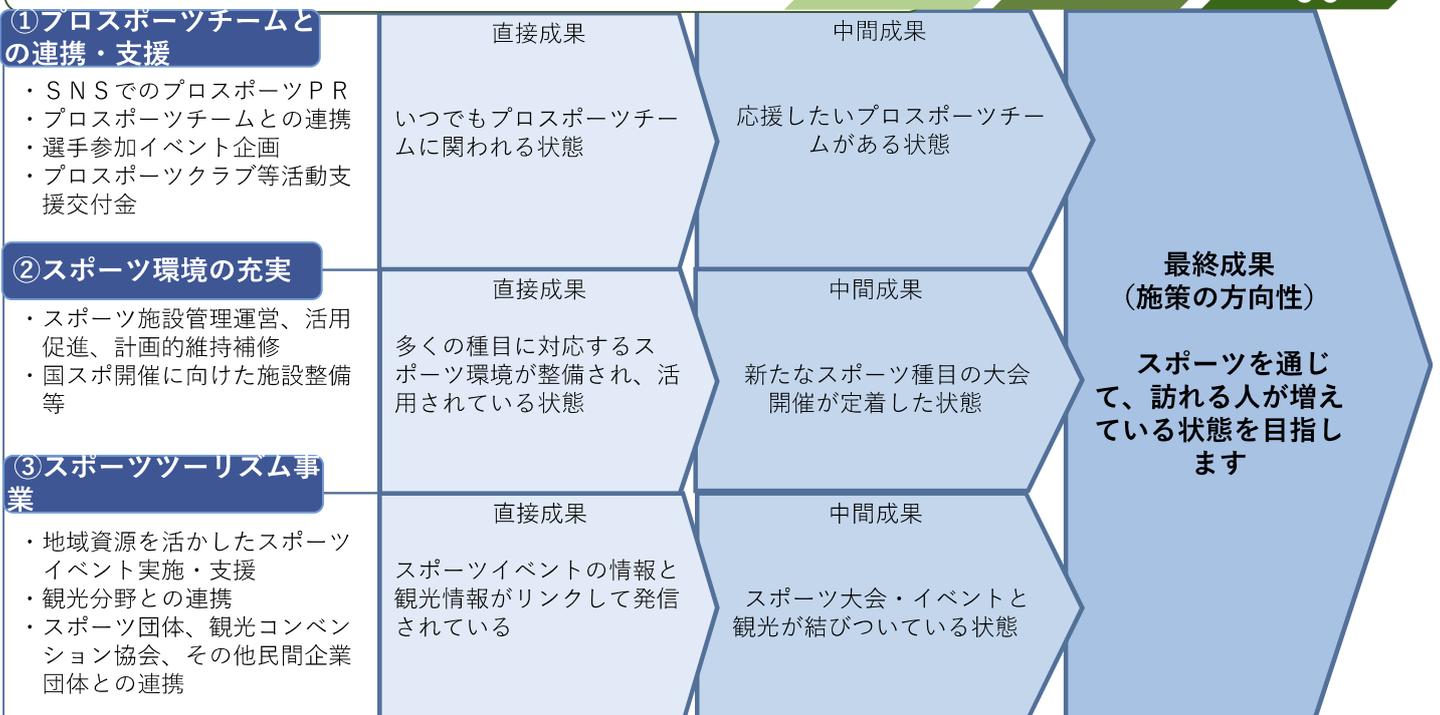
成果指標	実績 (2017)	現状 (2023)	目標 (2027)
前橋市公式SNSアカウントのフォロワー数 (年度末時点) ※前橋市LINE、観光インスタ、シティプロモーションX	— 人	28,086 人	59,800 人
赤城山頂及び赤城南麓7施設への観光入込客数 (年間) + 道の駅「まえばし赤城」の年間来場者数 (年間)	179.2 万人	591.5 万人	479.3 万人
「自慢できる自然景観がある」について「非常にあてはまる」「ある程度当てはまる」と答えた人の割合	— %	42.7 %	44.7 %



(27) 歴史・文化・芸術の活用



(28) スポーツ機会の拡充と環境づくり



2 移住・定住促進



目標

移住・定住に向けた支援・受入体制の強化により、活気あるまちづくりを進めます

現状と課題

ライフスタイルや価値観の変化による多様なニーズに対応可能な柔軟な支援が求められています

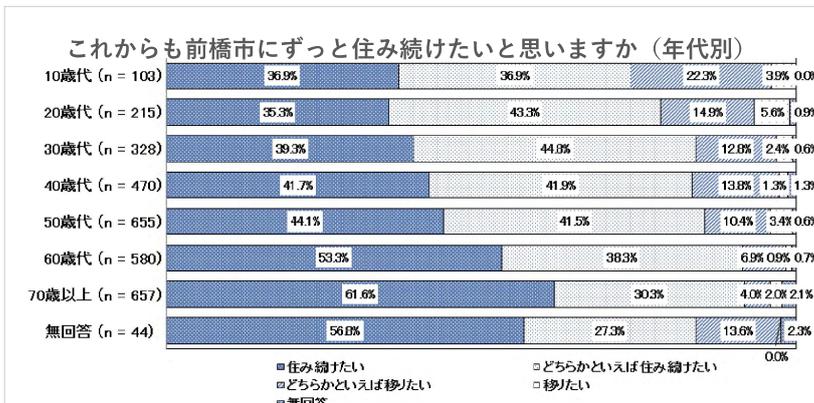
市民に期待する役割

- ・地域の魅力発信
- ・移住者の受け入れ
- ・キャリア情報提供事業への参加
- ・多文化共生の理解

企業・団体に期待する役割

- ・移住支援事業への参画
- ・求職者への情報発信
- ・外国人材との相互理解・育成
- ・若者に向けた働き方の発信

関連データ

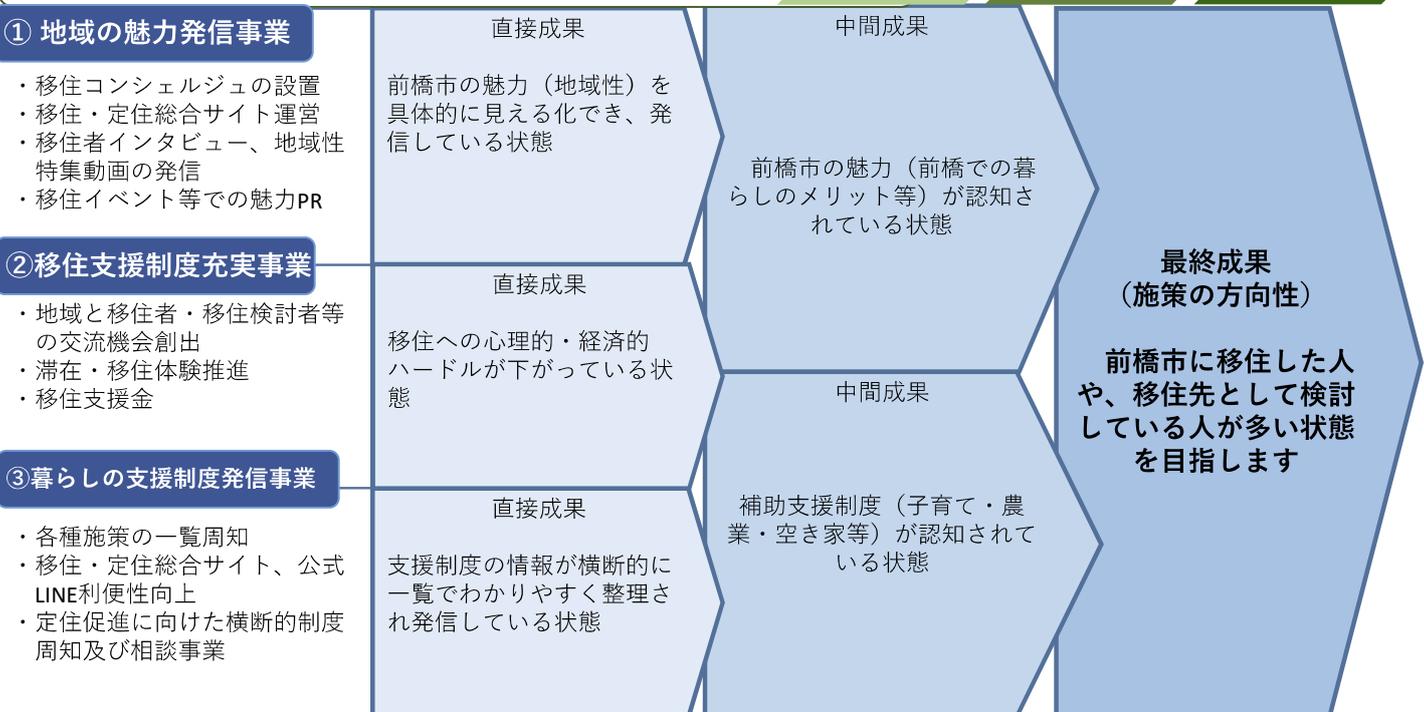


出典：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数に関する調査

出典：2023年度市民アンケート

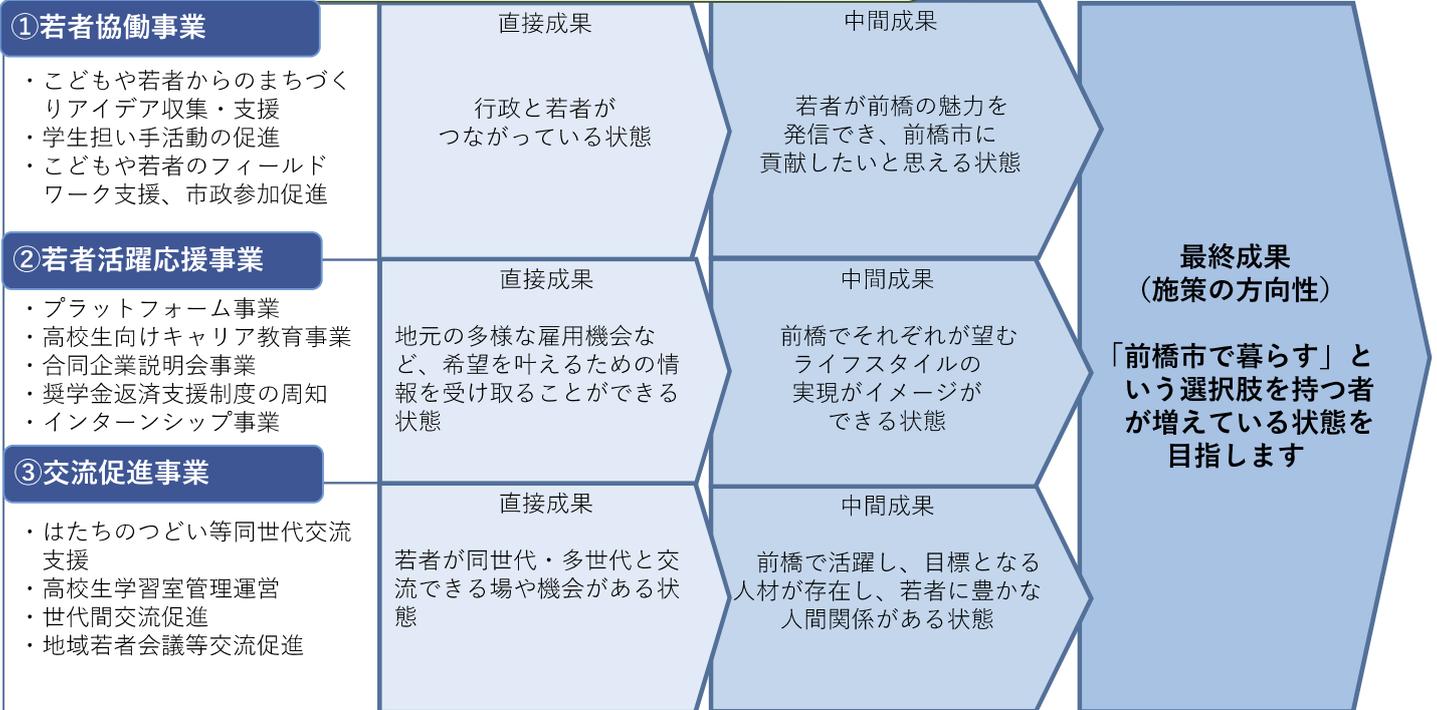
(29)移住・定住の促進

成果指標	実績 (2017)	現状 (2023)	目標 (2027)
移住関連事業を通じて移住した人数 (年間)	83 人	191 人	191 人
転入者数 (年間)	12,297 人	13,057 人	12,268 人
「私は、この町内（集落）に対して愛着を持っている」について「非常にあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた人の割合	- %	48.1 %	50.1 %



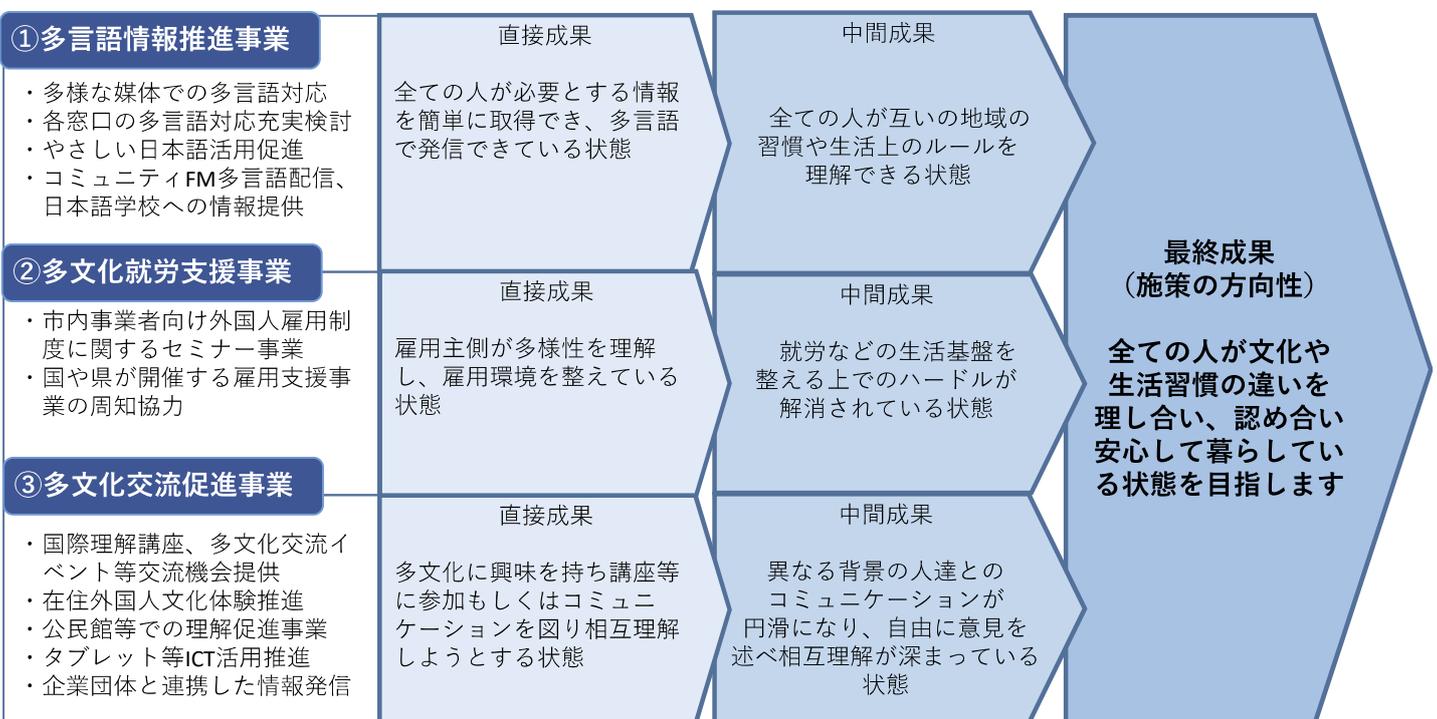
(30)若者の定着・還流促進

成果指標	住民基本台帳人口移動報告（総務省統計局）による25-39歳の転入超過数（年間）	実績（2017） 32人	現状（2023） -105人	目標（2027） -35人
Well-Being	【Well-Being】「暮らしている地域には、若者が活躍しやすい雰囲気がある」について「非常にあてはまる」「ある程度当てはまる」と答えた人の割合	実績（2017） -%	現状（2023） 11.2%	目標（2027） 15.2%
補足指標	高校生学習室の地域活動参加者（高校生ボランティア数）	実績（2017） -人	現状（2023） 59人	目標（2027） 100人



(31)外国人材の定着・共生推進

成果指標	多文化共生・国際交流事業の参加者数（年間）	実績（2017） 1,882人	現状（2023） 1,151人	目標（2027） 1,350人
Well-Being	「この町内（集落）には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」について「非常にあてはまる」「ある程度あてはまる」と答えた人の割合	実績（2017） -%	現状（2023） 14.1%	目標（2027） 18.1%



3 市民主体の魅力づくりの推進

目標

前橋市の魅力を高める取組や発信を積極的に行い、地域に対する市民の誇りや愛着を向上させます



現状と課題

市民、企業・団体、行政のそれぞれが本市の魅力を認識、共有し、主体的に発信していくことが求められています

市民に期待する役割

- ・ 地域課題への興味関心
- ・ 前橋の魅力の共有
- ・ SNSでの本市に関する情報の投稿

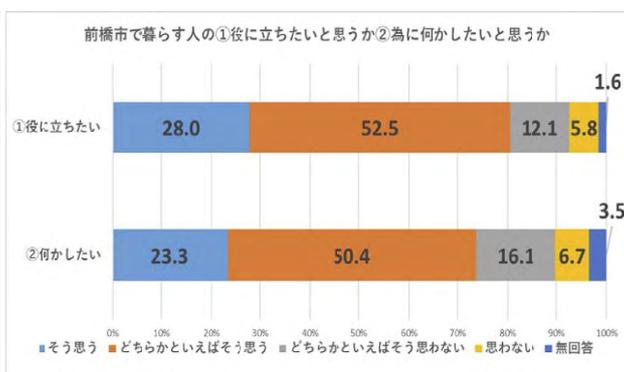
企業・団体に期待する役割

- ・ 多様な主体との連携
- ・ 地域課題や地域の魅力への関心
- ・ 強みを活かしたまちづくりへの参画

関連データ

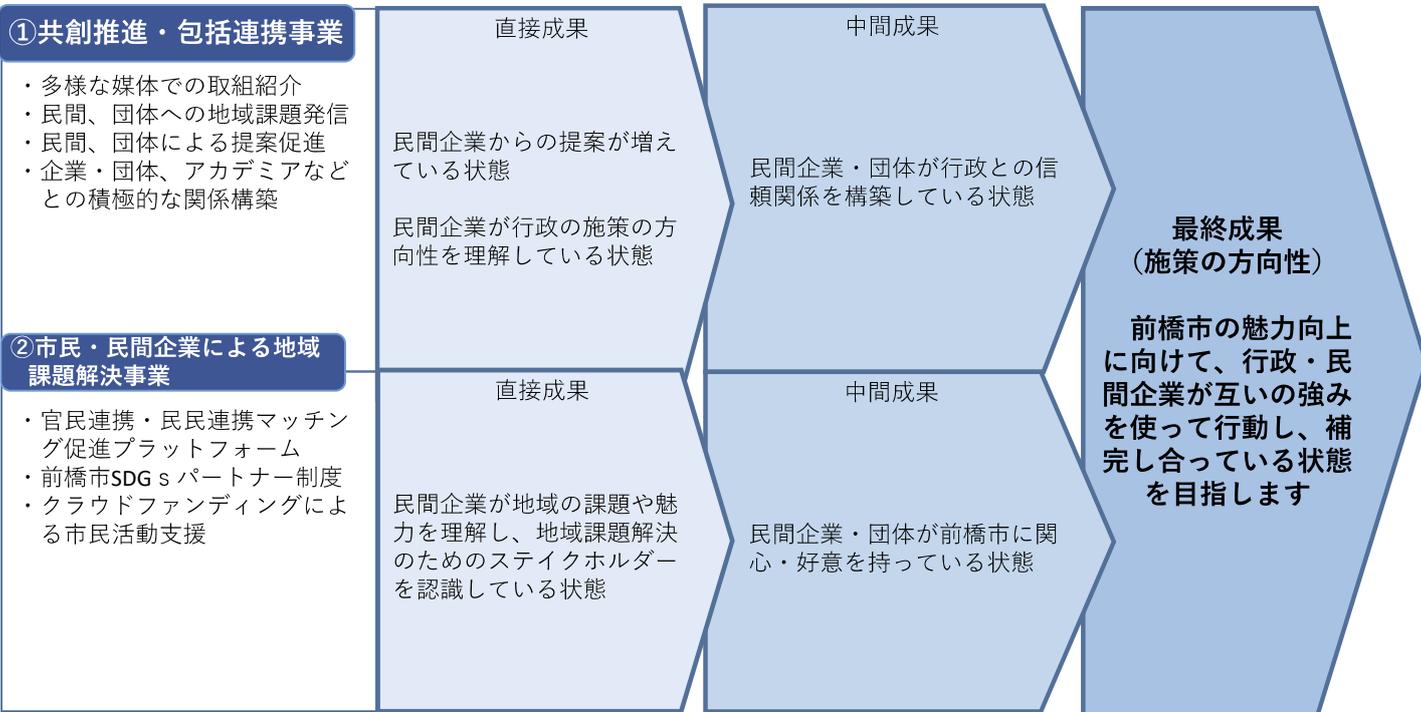
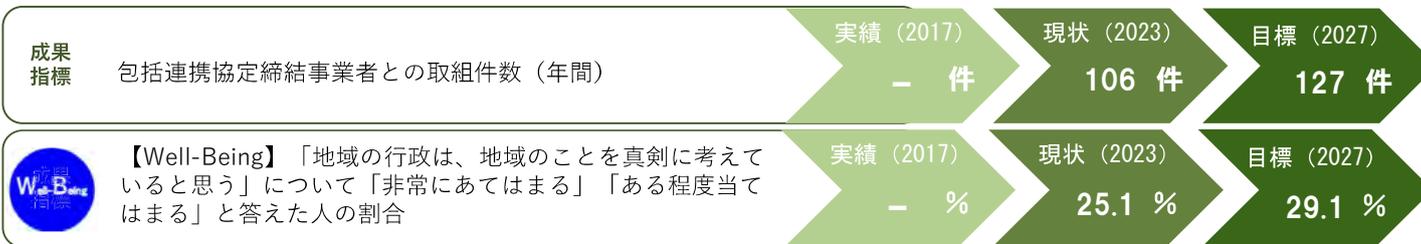


出典：個人版ふるさと納税事業実績



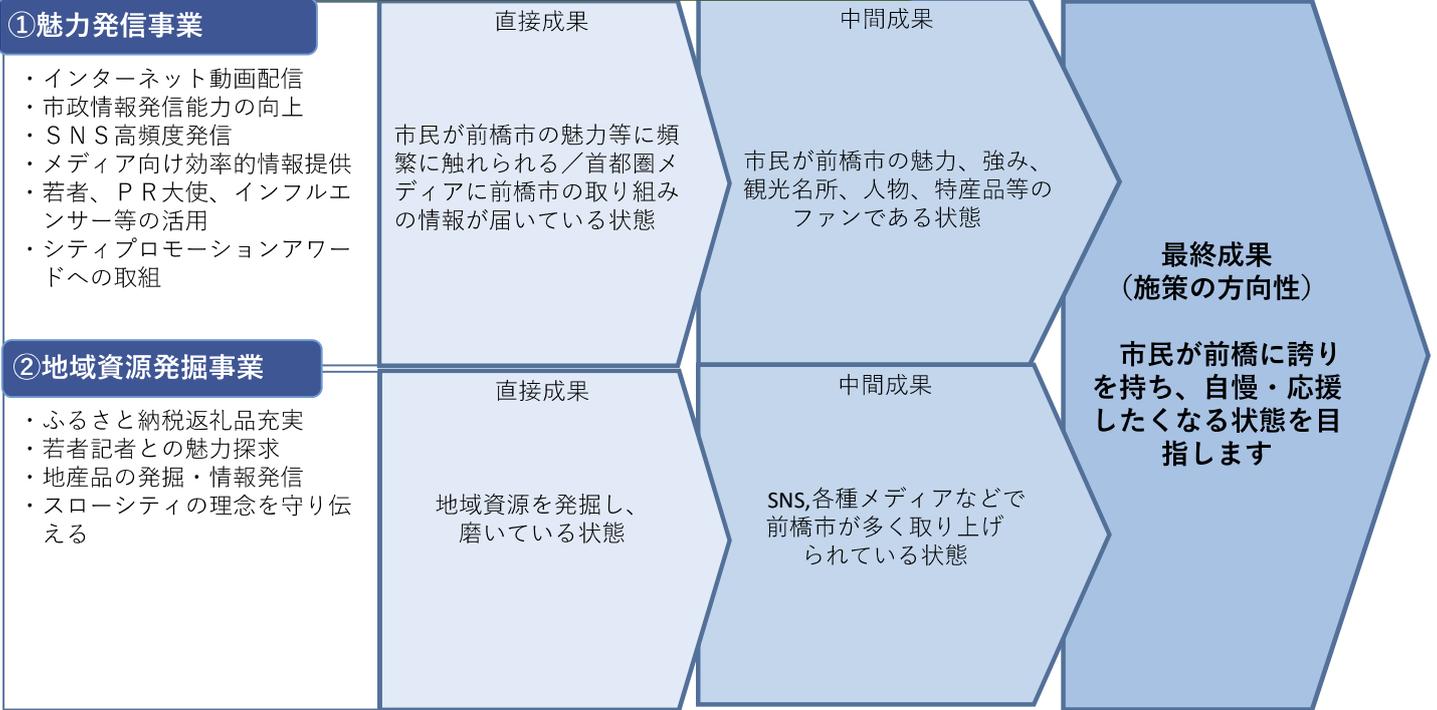
出典：2023年度市民アンケート

(32)民間との連携推進



(33) 魅力発信の充実・推進

成果指標	アンケートで「市民が前橋の自然・歴史文化・食・風土などに誇りを持っている。」という質問に「感じる」「やや感じる」と回答した人の割合	実績(2016) 38.7%	現状(2023) 65.1%	目標(2027) 80.5%
補足指標	前橋市公式SNS全アカウントのフォロワー数 ※28アカウント	実績(2017) - 人	現状(2023) 41,210 人	目標(2027) 198,400 人
成果指標	寄付件数(年間)	実績(2017) 2,789 件	現状(2023) 14,683 件	目標(2027) 22,135 件



4 魅力的なまちづくりの推進

目標

市民と共に考え、地域の個性を活かした市街地の整備を推進することにより、居心地がよく歩きたくなるまちづくりを進めます



現状と課題

市内の団体同士の交流を促進し、景観に配慮した誰もが住みやすいまちづくりを市民と共に進めていくことが求められています

市民に期待する役割

- ・ 官民連携まちづくりへの理解・参画
- ・ 土地・建物の有効活用
- ・ 地域ボランティア活動への参加
- ・ 自分なりのまちでの過ごし方の発見

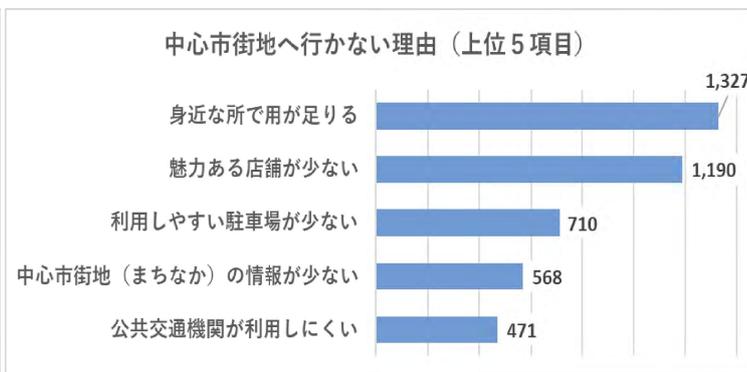
企業・団体に期待する役割

- ・ 強みを活かしたまちづくりへの参画
- ・ 地域のよさを取り込んだ事業展開
- ・ まちなかでの事業・企画の検討
- ・ 地域ボランティア活動への参加

関連データ



出典：商店街通行量調査



出典：2023年度市民アンケート

(34) まちなかの魅力向上

成果指標

商店街通行量調査による歩行者・二輪車通行量 (人/日)

実績 (2017)

15,790 人

現状 (2023)

10,008 人

目標 (2027)

10,770 人

① まちなかの魅力創出

- ・ 店舗開業や開業チャレンジ希望者への支援
- ・ 既存店に対する支援
- ・ 補助金以外の支援策展開
- ・ 開業前チャレンジ出店支援
- ・ まちなか遊休不動産利活用推進

直接成果

新規開業等、事業者がやりたいことにチャレンジできる状態

中間成果

個性豊かな店舗が混在している状態

最終成果 (施策の方向性)

まちなかで色々な体験・経験できる状態を目指します

② まちなか活性化の促進

- ・ まちづくり団体支援
- ・ 地域おこし協力隊等、まちに根付いたプレイヤーのサポート
- ・ まちなかイベント支援
- ・ まちなかイベントスペース管理運営
- ・ まちのにぎわい情報発信支援

直接成果

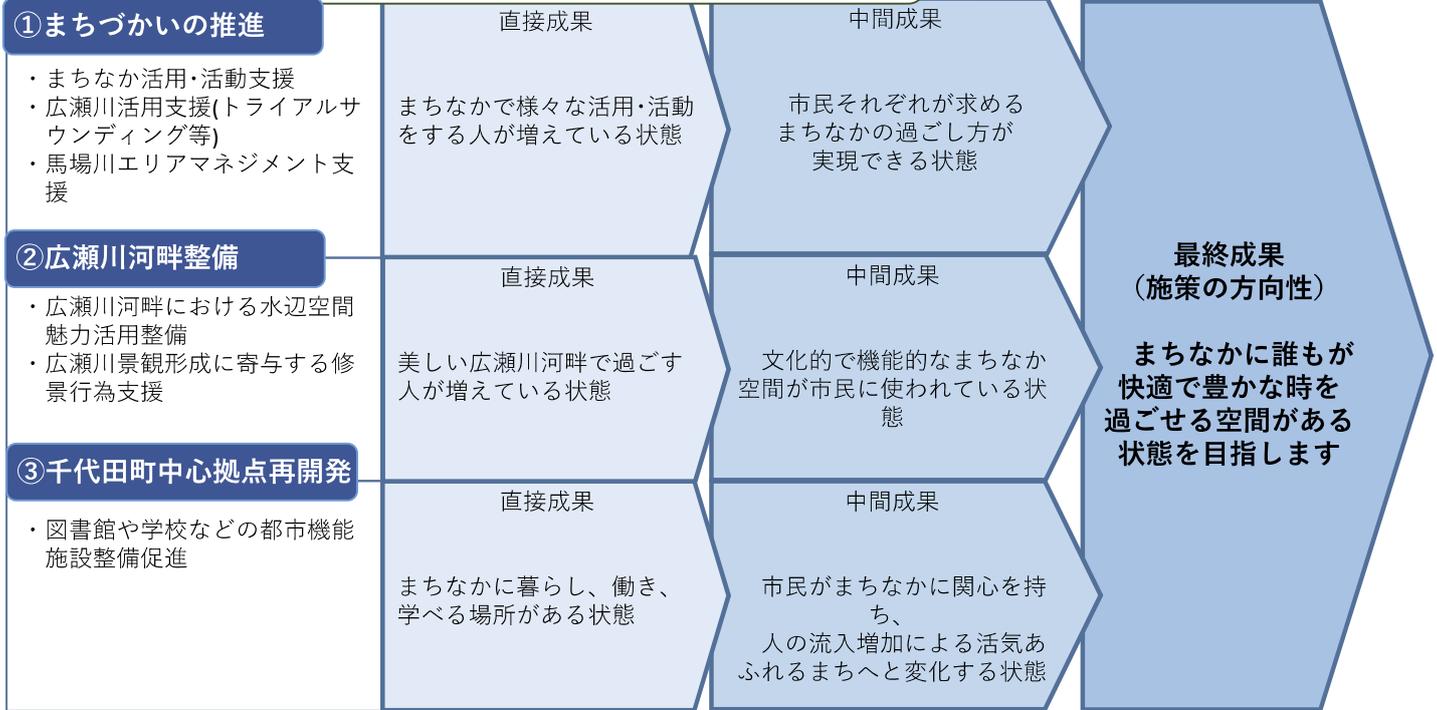
プレイヤーやまちづくり団体が活動できる状態

中間成果

多種多様なコンテンツが生まれる状態

(35) まちなか空間の整備・活用

成果指標	まちなかの活動時間（延べ分）	実績（2017） — 分	現状（2023） 1,968 分	目標（2027） 2,208 分
成果指標	再開発区域前面道路路線価	実績（2017） 79,455 円	現状（2023） 74,455 円	目標（2027） 76,025 円
W.8 W.8	「まちなか、公園、川沿い等で、心地よく歩ける場所がある」について「非常にあてはまる」「ある程度当てはまる」と答えた人の割合	実績（2017） — %	現状（2023） 62.0 %	目標（2027） 62.5 %



第6章

持続可能なまちづくり (都市基盤)

10年後に
目指す姿

人口減少・少子高齢社会に対応した
都市基盤の構築を推進し、
将来にわたり安全で、
安心して暮らせるまちを目指します。

重点テーマ

都市機能の充実と安全・安心の確保

重点施策

- 1 都市機能の集約と拠点性の向上
- 2 交通ネットワークの充実
- 3 環境配慮型社会の形成
- 4 安全・安心なまちづくりの推進

1 都市機能の集約と拠点性の向上

目標

コンパクトで機能的なまちづくりを進めることで、快適で住みやすいまちを目指します



現状と課題

地域の特性に応じた土地利用規制の検討と、財政制約を踏まえた効果的かつ効率的な施設再編を進めることが求められています

市民に期待する役割

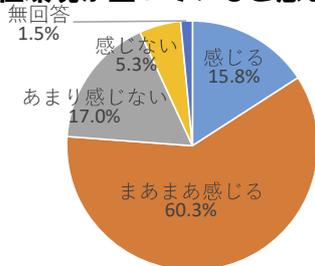
- ・過度な自動車依存からの脱却
- ・市民相互に協力し、利便性の高いまちづくりに向けた検討への積極的な参加
- ・税負担も含めた公共施設のあり方への理解

企業・団体に期待する役割

- ・秩序あるまちづくりに資する適正な開発・協力・支援
- ・医療・福祉・商業等の生活サービス施設の適正な立地
- ・企業ノウハウを活用した公共施設の有効活用

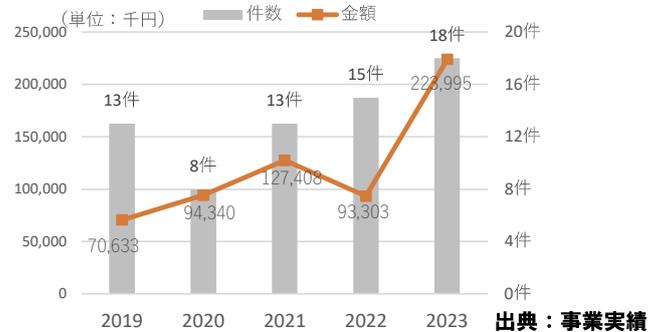
関連データ

【都市づくりに関するアンケート「毎日の生活の中で、快適さや便利さ、暮らしやすさなど、魅力的な住環境が整っていると感じますか」】

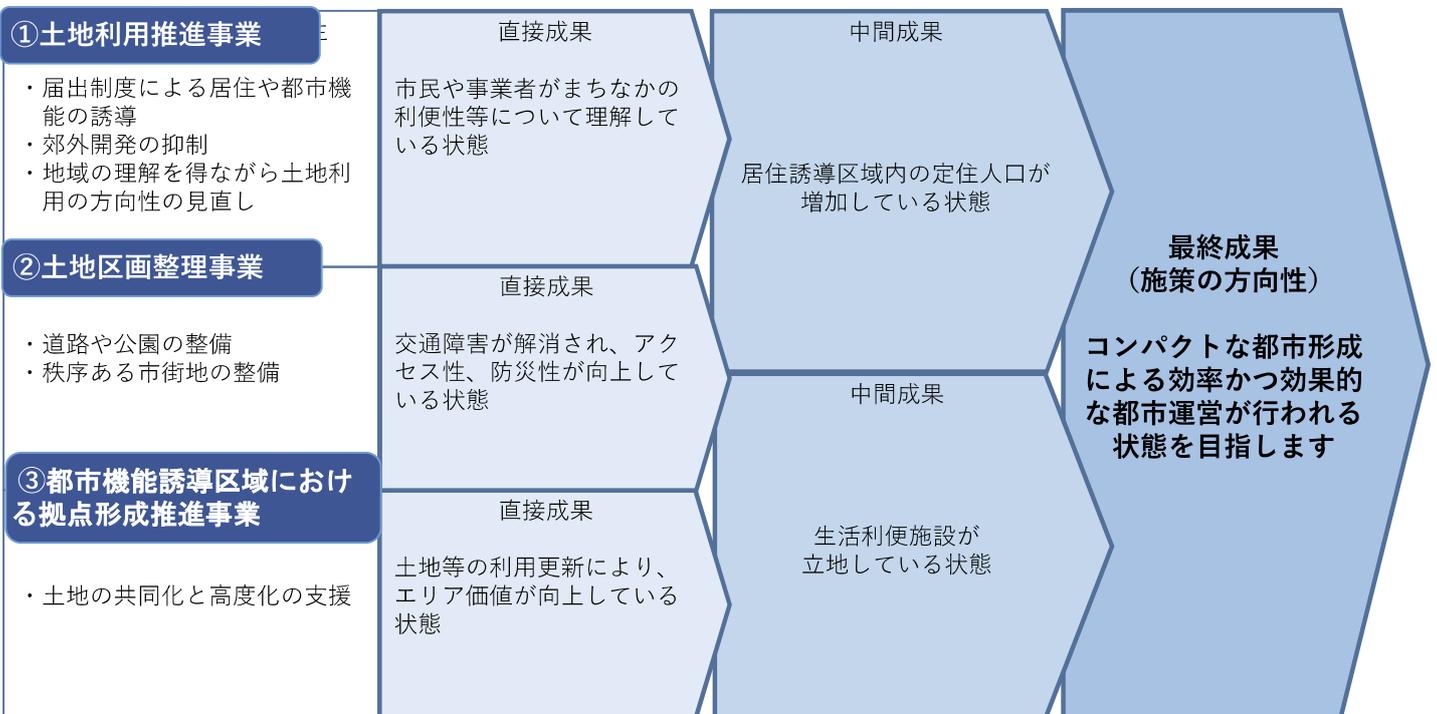


出典：2022年度 前橋市都市づくりに関するアンケート

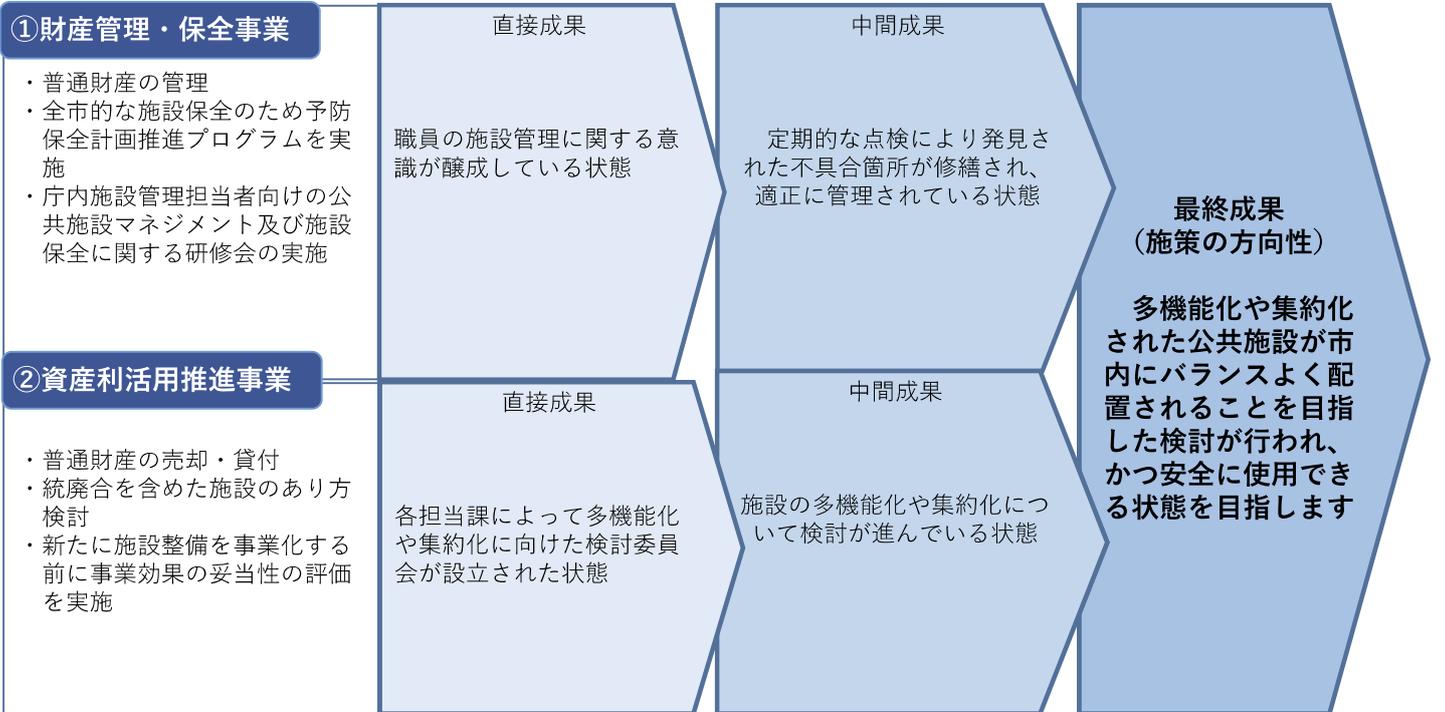
【市有土地の売り払い実績】



(36) 合理的な土地利用と良好な市街地の形成



(37) ファシリティマネジメントの推進



2 交通ネットワークの充実

目標

交通環境を整備し、市内外を様々な手段で安全で快適に移動できる生活を実現します



現状と課題

誰もが移動しやすく、安全で環境にも配慮した公共交通機関や道路の整備を進めることが求められています

市民に期待する役割

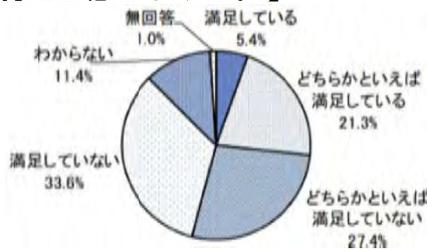
- ・公共交通の積極的な利用
- ・交通ルールの遵守
- ・道路整備への理解と協力

企業・団体に期待する役割

- ・通勤手段としての公共交通の利用促進
- ・交通安全に向けた研修
- ・道路整備への理解と協力

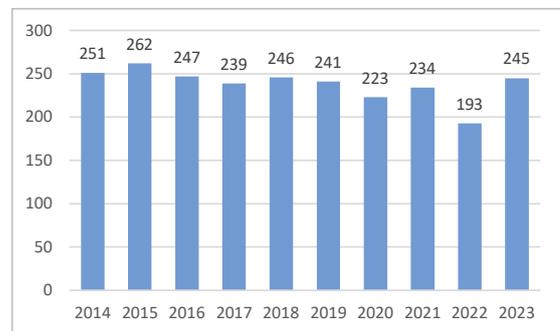
関連データ

【市民アンケート「あなたは、前橋市内における鉄道・バスなどの公共交通機関は便利だと感じますか。」】



出典：2023年度市民アンケート

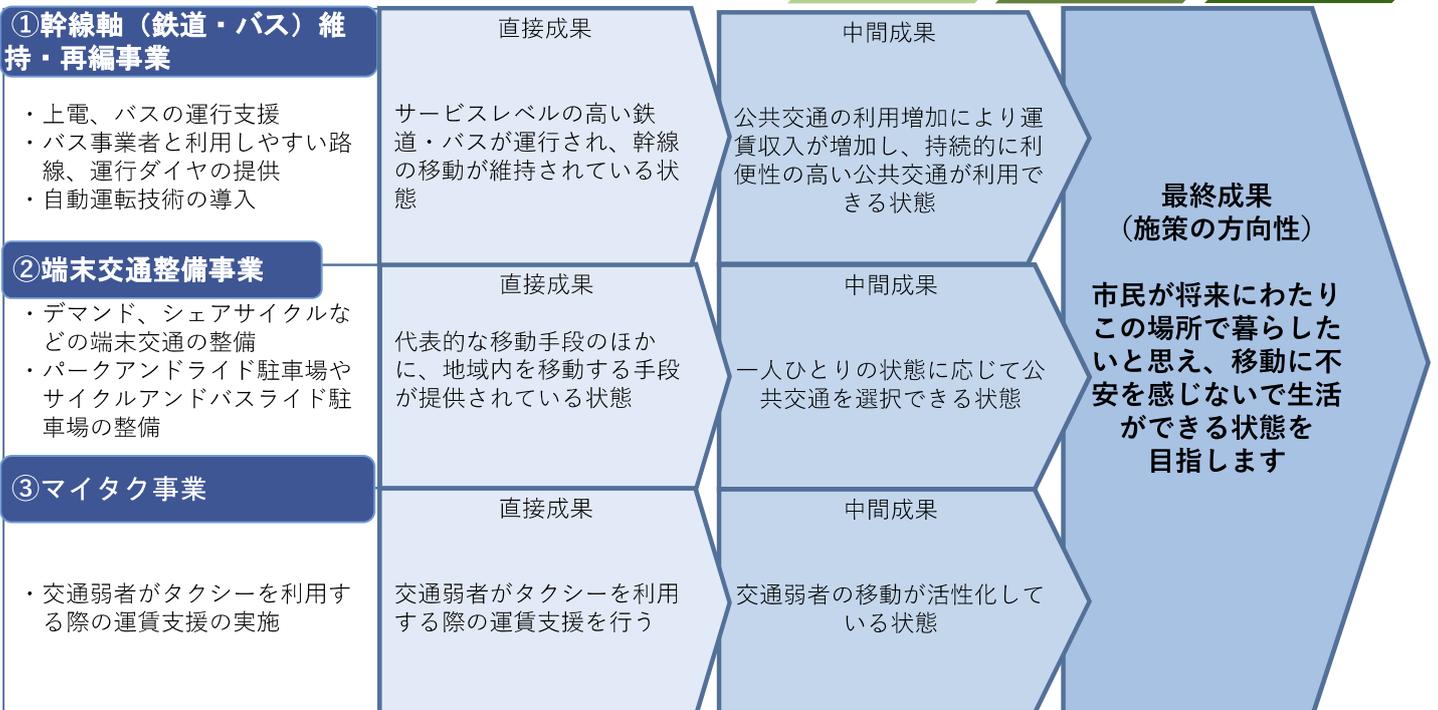
中高生自転車関連事故件数



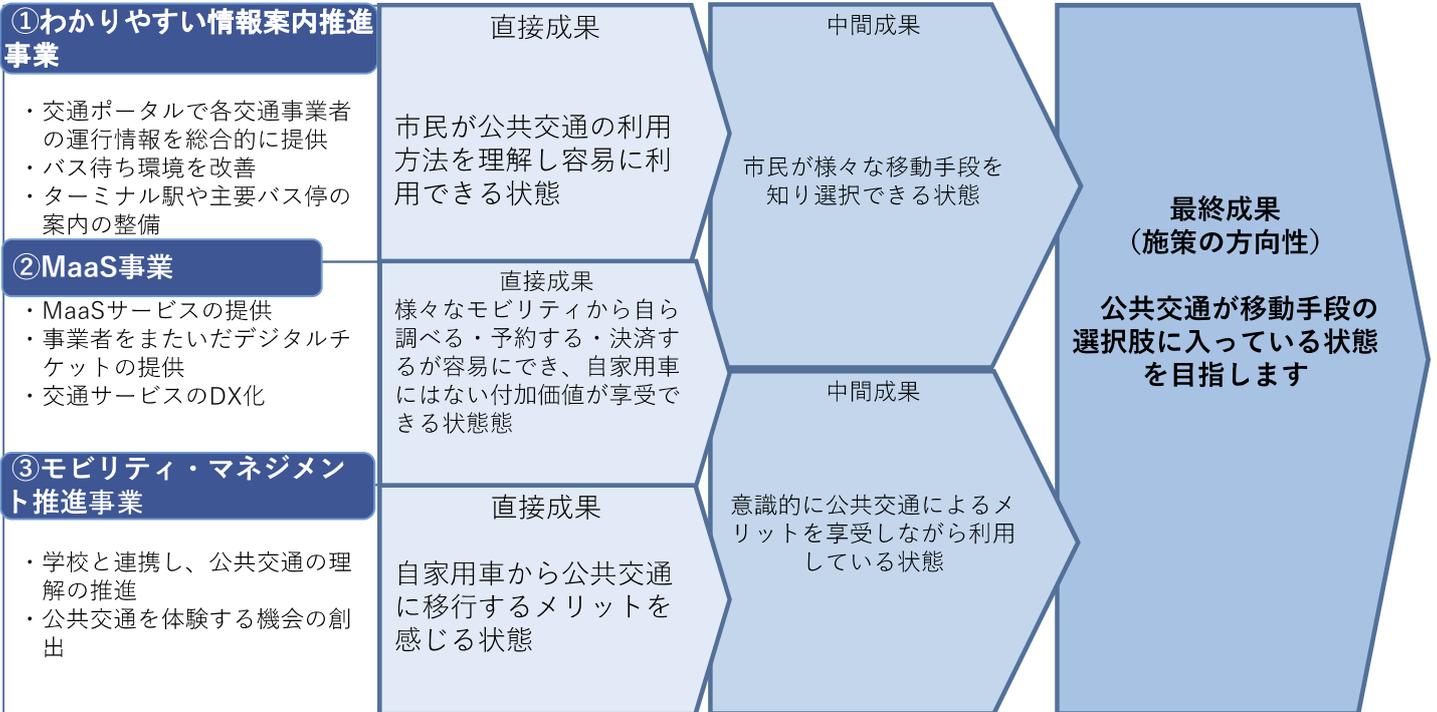
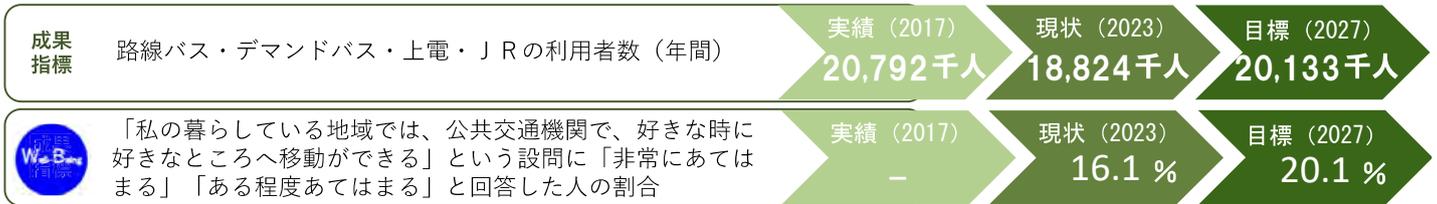
出典：群馬県警

(38) 公共交通の維持・充実

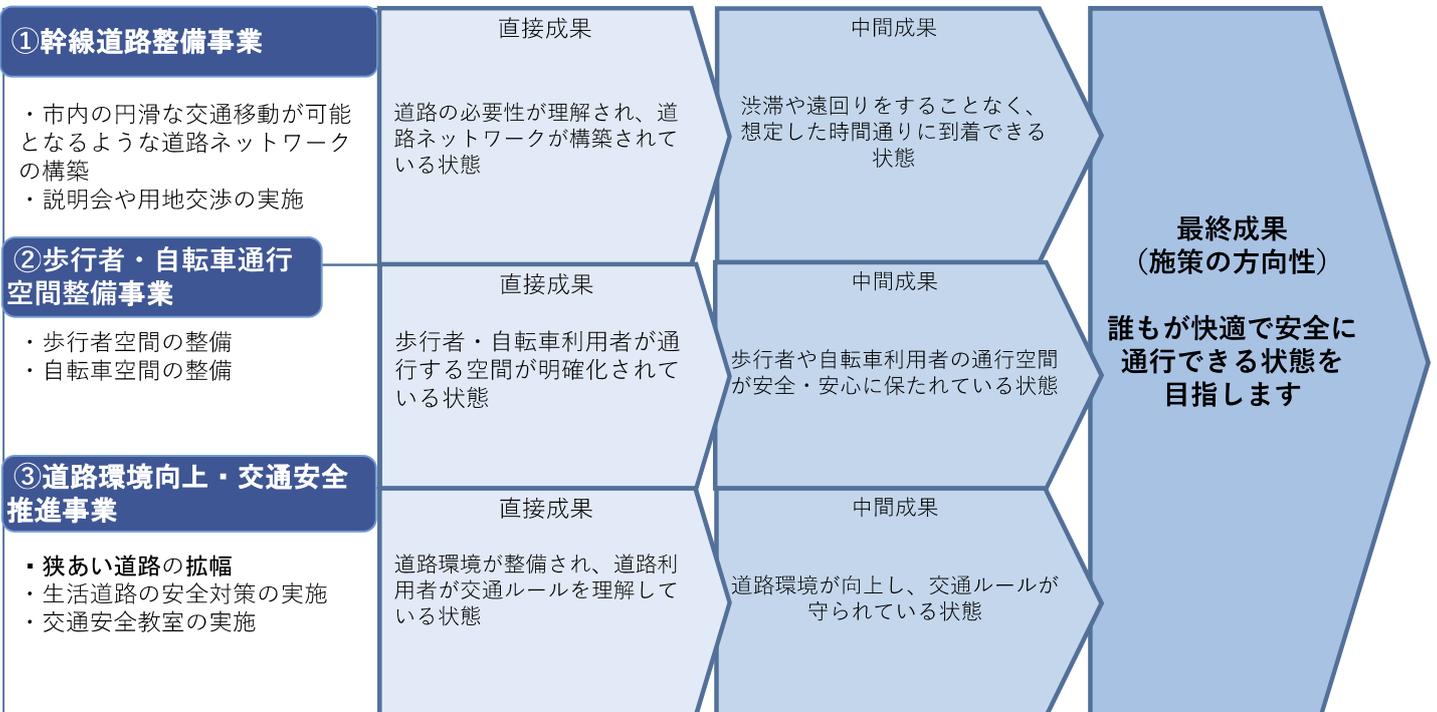
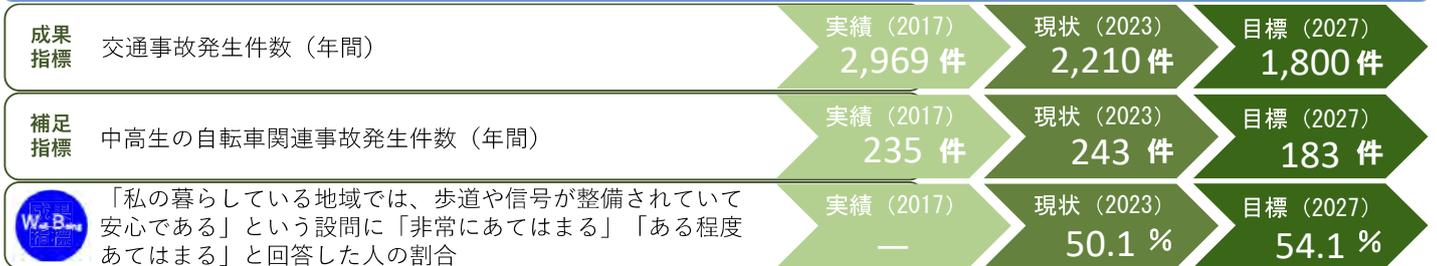
成果指標	実績(2017)	現状(2023)	目標(2027)
地域公共交通（自主、委託路線バス・城南地域内交通・上電）の収支率	56.0%	45.8%	50.0%
シェアサイクルの利用回数（年間）	—	57,044回	100,000回
マイタクの利用回数（年間）	283,732回	206,828回	225,000回



(39) 公共交通の利用促進



(40) 安全・安心で円滑な道路環境整備の推進



3 環境配慮型社会の形成



目標

「2050ゼロカーボンシティまえばし」に向けた温室効果ガスの削減、環境負荷を低減した循環型社会の実現により、恵み豊かな自然を活かした良好な生活環境を構築します

現状と課題

環境の保護は、前橋だけに留まらない重要な課題ですが、その実現には、市民一人ひとりの意識を高めることが求められています

市民に期待する役割

- ・環境に配慮した製品・サービスなどの選択
- ・環境保全活動などへの参加
- ・家庭ごみの減量と資源化

企業・団体に期待する役割

- ・環境負荷低減に配慮した製品・技術の活用
- ・事業系ごみの減量と資源化
- ・省エネルギーや再生可能エネルギーに関する設備の導入検討

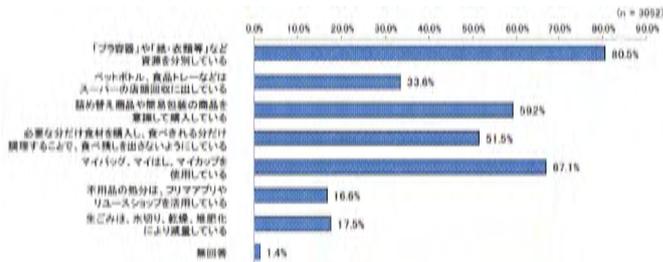
関連データ

【主な発電事業における売電金額の推移】



出典：事業実績

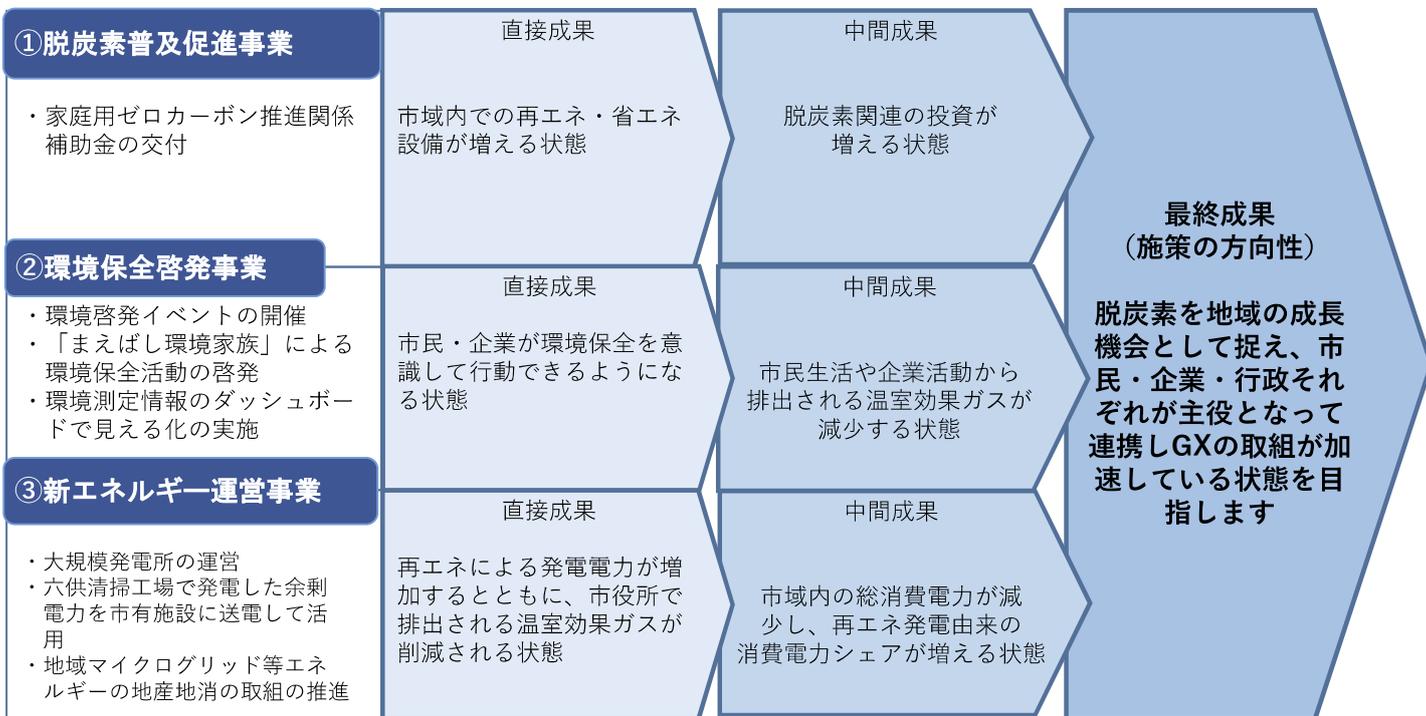
【市民アンケート「日ごろからごみを減らすために、どのような取り組みをしていますか」】



出典：2023年度市民アンケート

(41) グリーントランスフォーメーション (GX) の推進

成果指標	実績 (2017)	現状 (2023)	目標 (2027)
温室効果ガス排出量 (年間) ※目標値及び実績値は統計資料の公表時期の都合上2年遅れ	—	2,211,417 t-CO2	1,861,538 t-CO2
再生エネルギー発電量 (年間)	—	347,362 kWh	526,517 kWh
環境家族の参加者数 (累計)	21,010 家族	37,259 家族	42,251 家族



(42)ごみ減量化と安定処理の推進



4 安全・安心なまちづくりの推進



目標

市民・地域・行政が一体となって災害対策を充実させることで、安全で安心なまちを実現します

現状と課題

災害が発生した場合に備え、施設や消防救急体制を整備するとともに、市民一人ひとりの災害に対する意識を高めることが必要となります

市民に期待する役割

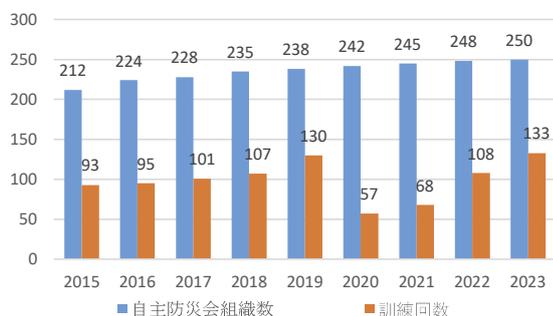
- ・ 家庭内食糧備蓄などの日頃の備え
- ・ 給水装置及び排水設備の適正な維持管理
- ・ 防災訓練・救命講習への参加

企業・団体に期待する役割

- ・ 防災協力事業所への参加・協力
- ・ 給水装置及び排水設備の適正な維持管理
- ・ 建築物の耐震化

関連データ

【自主防災会の組織数及び訓練回数】



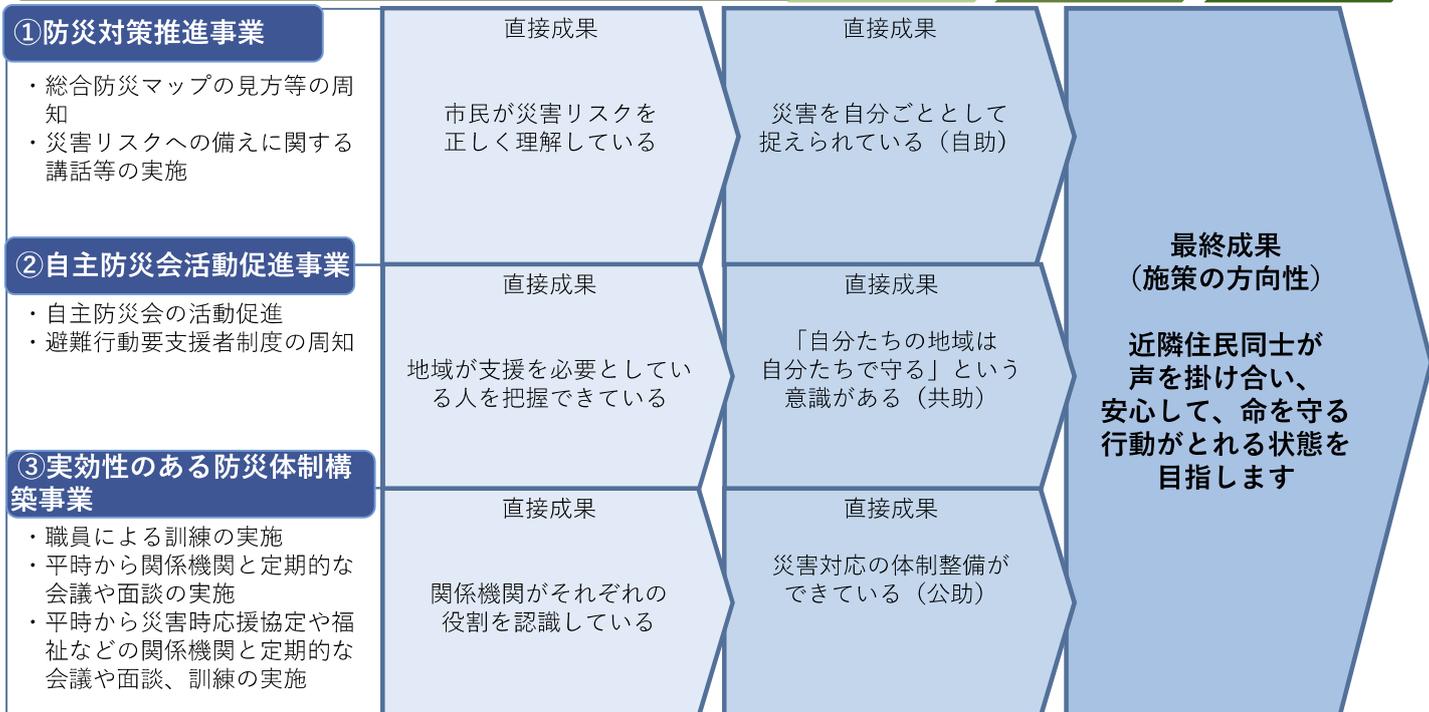
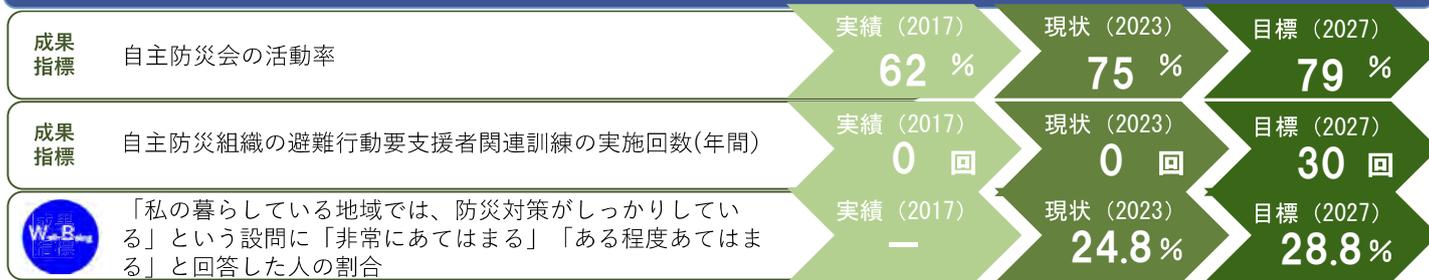
出典：2023年度市民アンケート

【緊急出動件数及び輸送人員の推移】

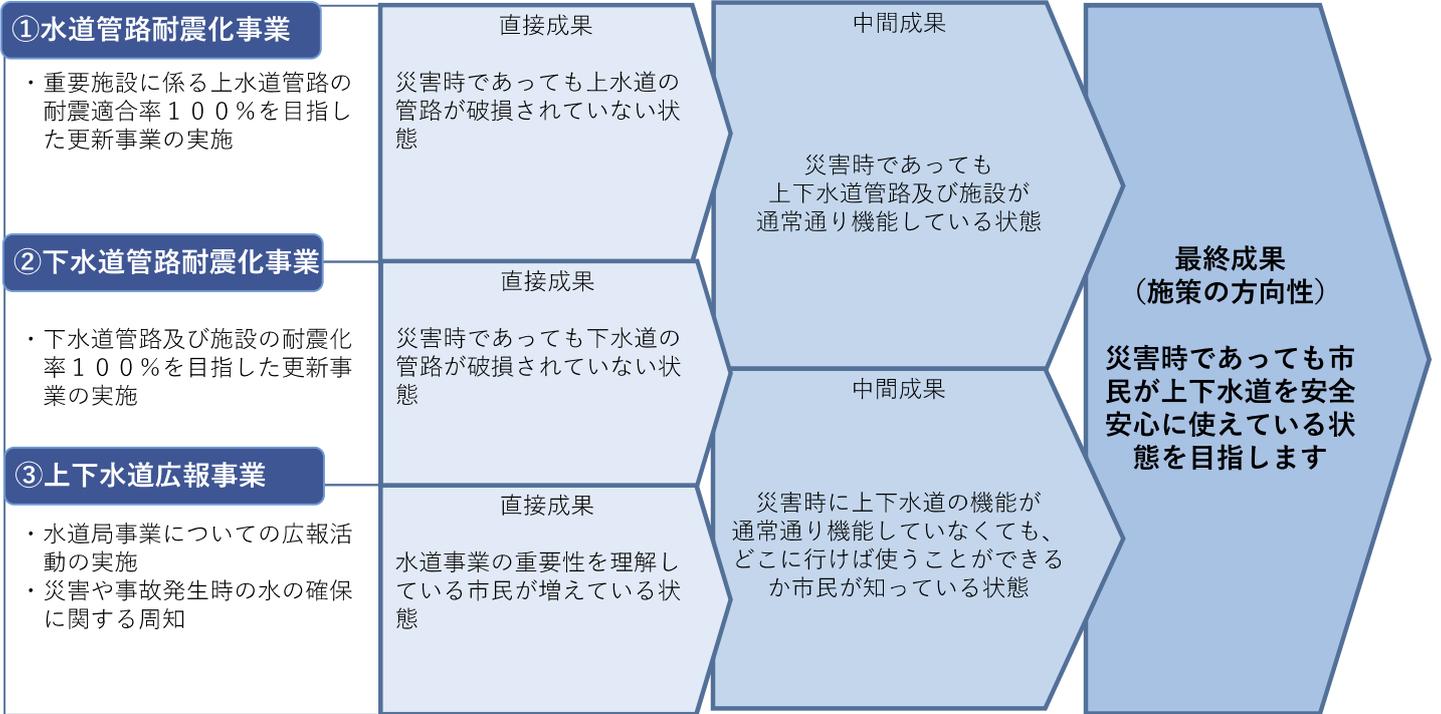


出典：救急統計（前橋市消防局）

(43)地域防災力の向上



(44)災害に強い上下水道システムの構築



(45)消防救急体制の充実・強化

